

令和5年度第2回 インターネット都政モニターアンケート

「自転車用ヘルメットの着用について」

調査結果



調査実施の概要

- 1 アンケートテーマ**
自転車用ヘルメットの着用について
- 2 アンケート目的**
令和5年4月1日から全年齢で努力義務化された自転車利用時のヘルメットの着用について、都民の着用状況や要望等を把握し、今後の取組の参考とする。
- 3 アンケート期間**
令和5年7月19日（水曜日）から7月27日（木曜日）まで
- 4 アンケート方法**
インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。
- 5 インターネット都政モニター数**
500人
- 6 回答者数**
485人
- 7 回答率**
97.0%

自転車用ヘルメットの着用について

1 調査項目

- Q 1 自転車保有台数
- Q 2 自転車利用頻度
- Q 3 自転車利用の目的
- Q 4 自転車利用時の危害危険
- Q 5 自転車利用者のヘルメット着用の努力義務化の認知度
- Q 6 ヘルメット着用状況
- Q 7 ヘルメットを着用しない理由
- Q 8 ヘルメットの入手・購入場所
- Q 9 ヘルメットの入手・購入動機
- Q 10 入手・購入したヘルメットの種類
- Q 11 ヘルメットを選択理由
- Q 12 外出時にヘルメットを外した際の扱い
- Q 13 ヘルメットの取替えのタイミング
- Q 14 こどものヘルメット着用状況
- Q 15 こどもにヘルメットを着用させない理由
- Q 16 ヘルメットの耐用期間に関する認知度
- Q 17 衝撃を受けたヘルメットに関する認知度
- Q 18 ヘルメットの希望価格
- Q 19 ヘルメットの着用率向上
- Q 20 自転車用のヘルメットやヘルメット着用について（自由意見）

		モニター 人数	回 答		
			人数	構成比	率
全 体		500	485	-	97.0
性 別	男性	250	243	50.1	97.2
	女性	250	242	49.9	96.8
年 代 別	18・19歳	10	10	2.1	100.0
	20代	69	61	12.6	88.4
	30代	77	75	15.5	97.4
	40代	92	91	18.8	98.9
	50代	87	86	17.7	98.9
	60代	59	57	11.8	96.6
	70歳以上	106	105	21.6	99.1
職 業 別	自営業	48	47	9.7	97.9
	常勤	222	212	43.7	95.5
	パート・アルバイト	72	70	14.4	97.2
	主婦・主夫	68	68	14.0	100.0
	学生	30	29	6.0	96.7
	無職	60	59	12.2	98.3
居住地域別	東京都区部	344	332	68.5	96.5
	東京都市町村部	156	153	31.5	98.1

※ 集計結果は百分率 (%) で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n (number of cases) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・(MA) =いくつでも選択、(3MA) =3つまで選択、(2MA) =2つまで選択

改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメットの着用が全年齢で努力義務化されました。

今回のアンケートでは、努力義務化後の都民の自転車用ヘルメットの着用状況や要望等を把握し、今後の取組の参考とするため、都政モニターの皆さまのご意見を伺います。

自転車ヘルメット普及啓発（東京都生活文化スポーツ局ホームページ）

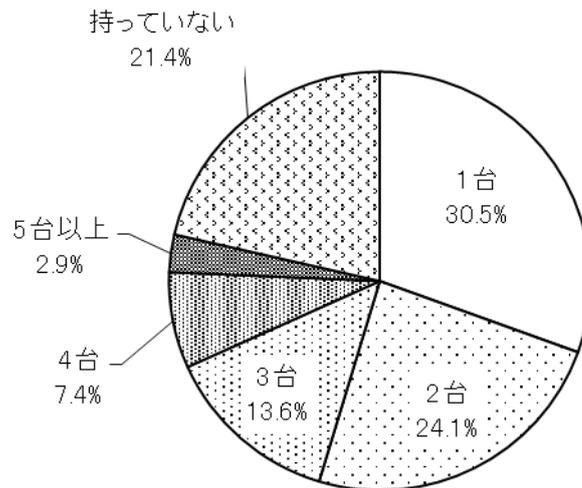
https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/tomin_anzen/kotsu/jitensha/anzennriyou-sokushin/jitensyahelmet/index.html



自転車保有台数

Q1 あなたのご家庭では、自転車を何台お持ちですか。

(n=485)

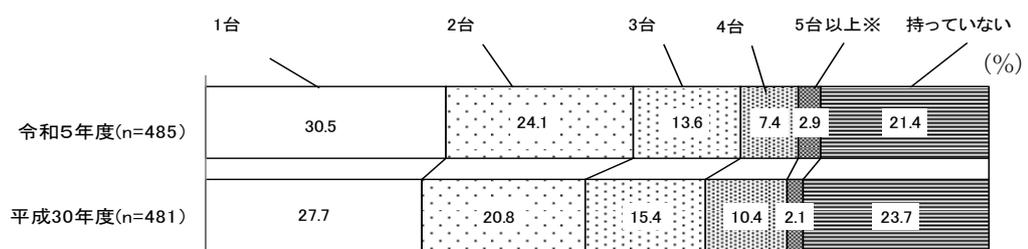


【調査結果の概要】

家庭で、自転車を何台お持ちか聞いたところ、「1台」(30.5%)が3割を超えて最も高く、以下、「2台」(24.1%)、「3台」(13.6%)などと続いている。

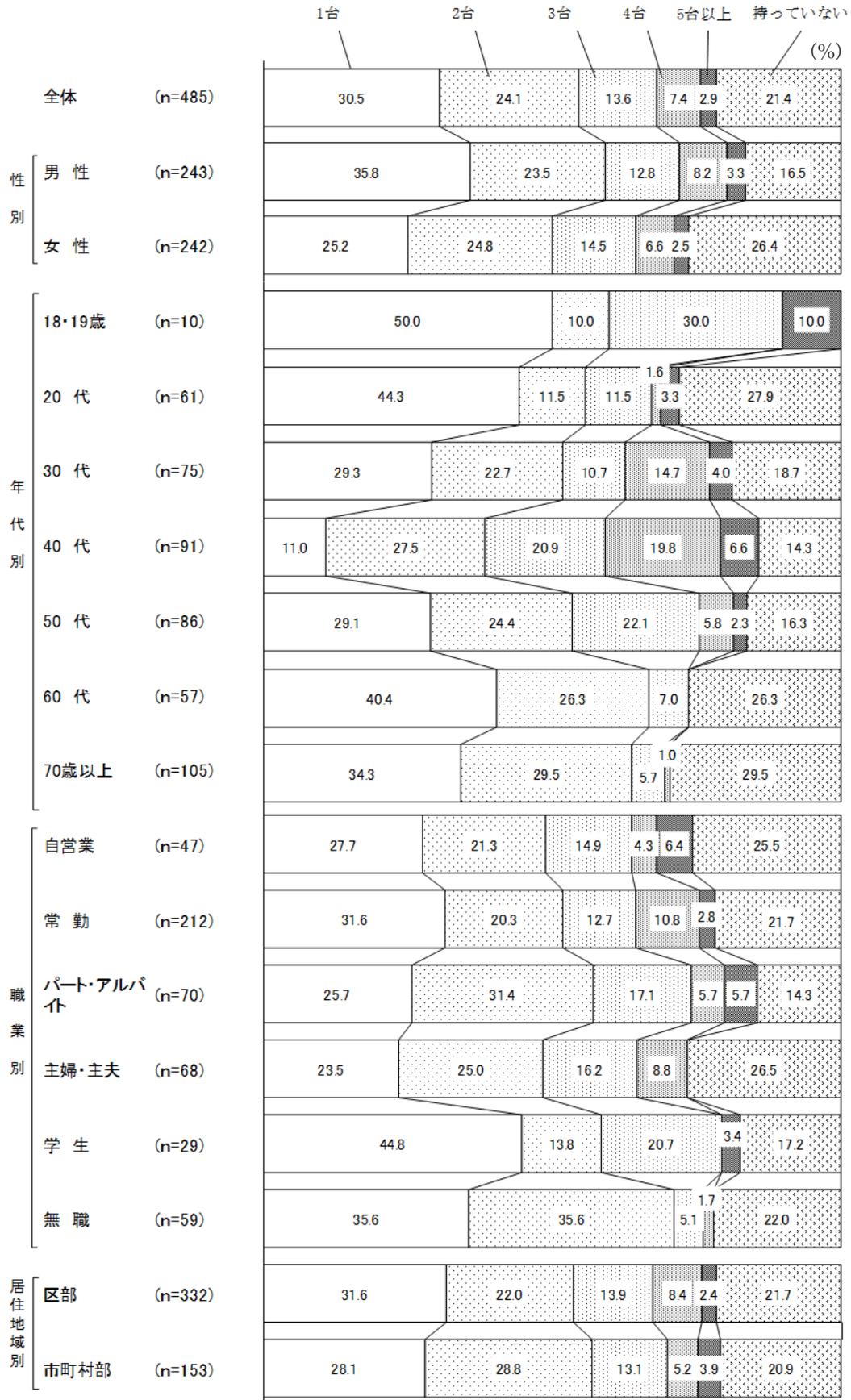
なお、「持っていない」(21.4%)は2割超だった。

◎前回調査との比較〈前回：平成30年6月実施「自転車の安全で適正な利用」〉



※ 前は「5台」、「6台」で集計

◎自転車保有台数（属性別）

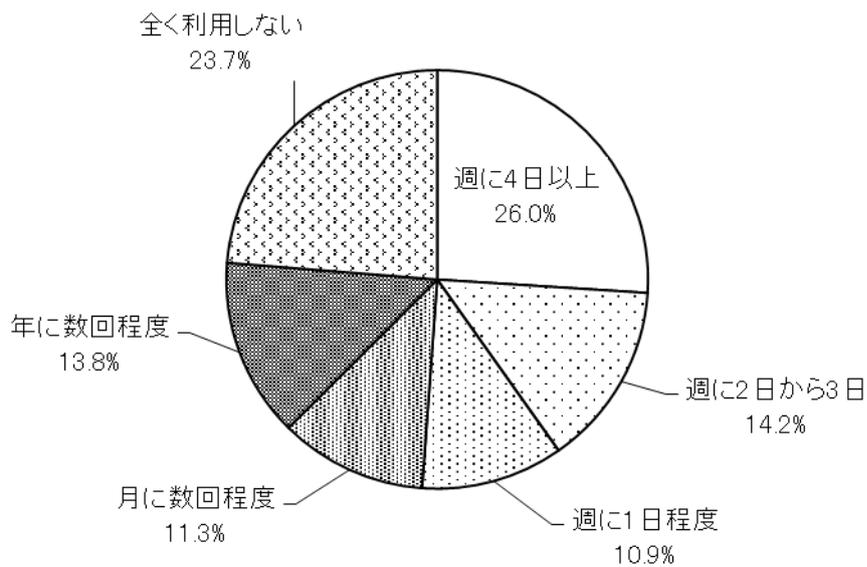


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

自転車利用頻度

Q2 あなたは、どのくらいの頻度で自転車を利用しますか。ご自身の自転車だけでなく、他人と自転車を共有するサービス（レンタサイクル、シェアサイクル等）の利用も含まれます。

(n=485)

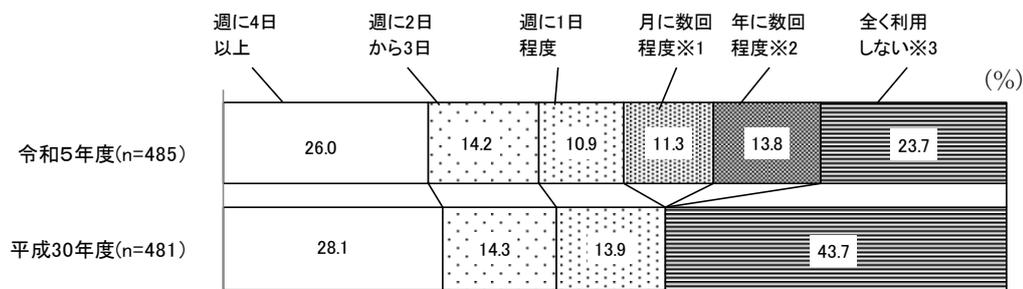


【調査結果の概要】

自転車の利用頻度を聞いたところ、『利用する（計）』（76.2%）（「週に4日以上」（26.0%）、「週に2日から3日」（14.2%）、「週に1日程度」（10.9%）、「月に数回程度」（11.3%）、「年に数回程度」（13.8%））が7割半ばだった。

なお、「全く利用しない」（23.7%）は2割半ばだった。

◎前回調査との比較〈前回：平成30年6月実施「自転車の安全で適正な利用」〉

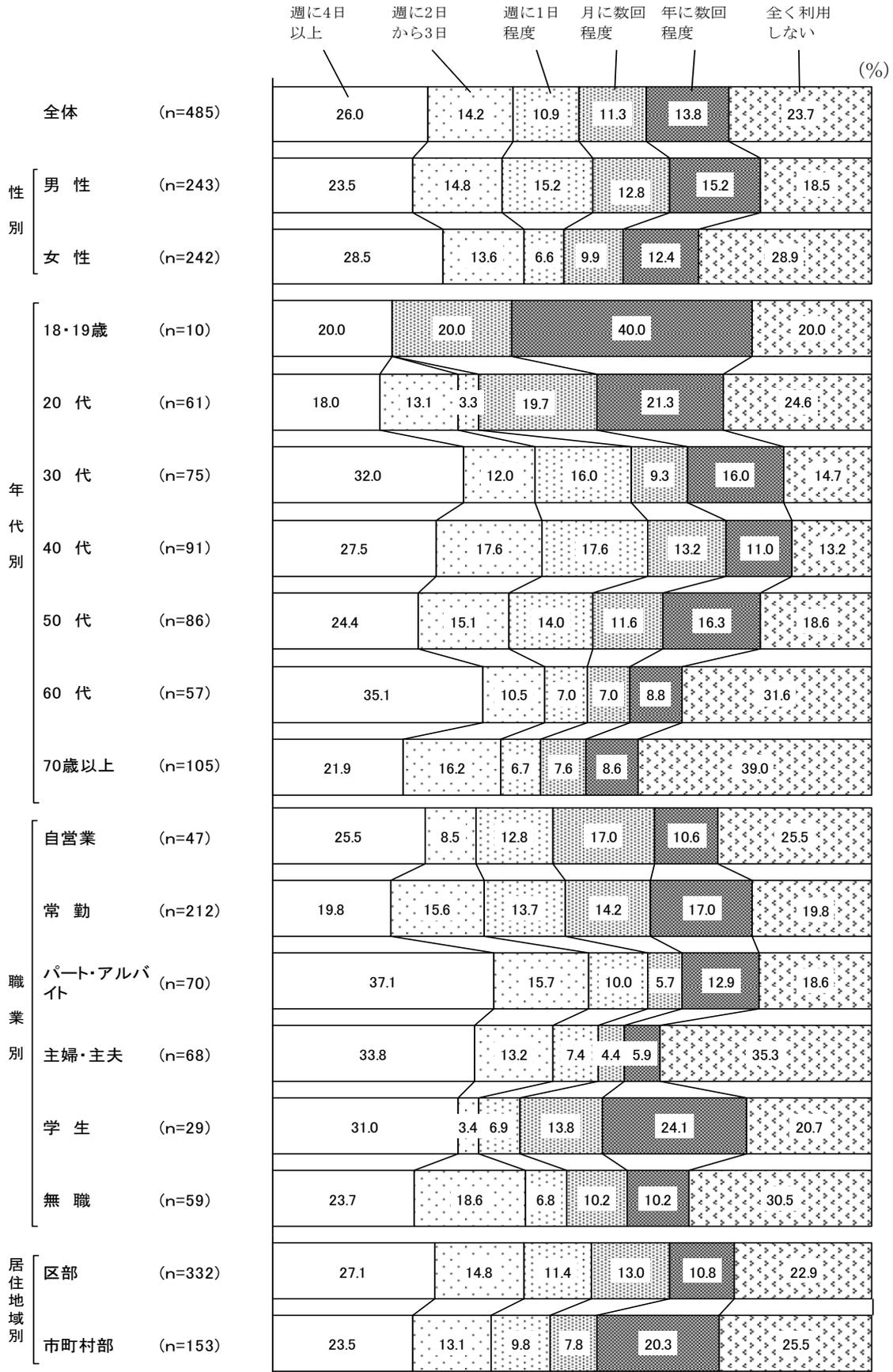


※1 前は選択肢なし

※2 前は選択肢なし

※3 前は「ほとんど(まったく)利用しない」で集計

◎自転車利用頻度（属性別）



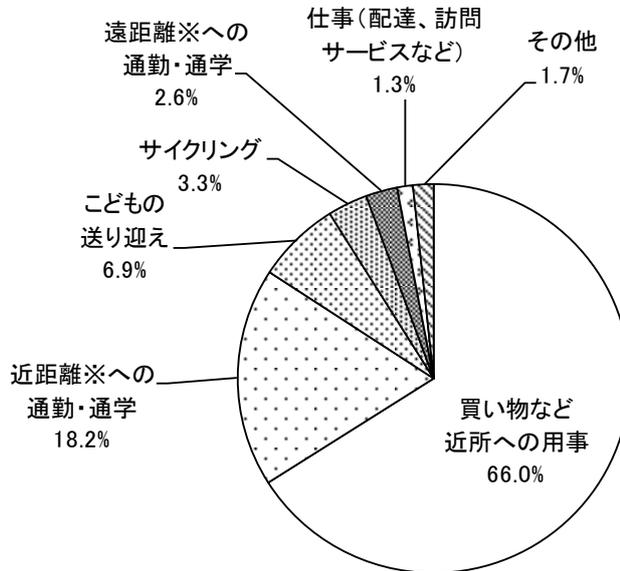
※未回答の選択肢については、0%表示を省略

自転車利用の目的

Q3 Q2で「週に4日以上」「週に2日から3日」「週に1日程度」「月に数回程度」を選んだ方にお聞きします。

あなたが日常の生活で、自転車を利用する主な目的は何ですか。

(n=303)

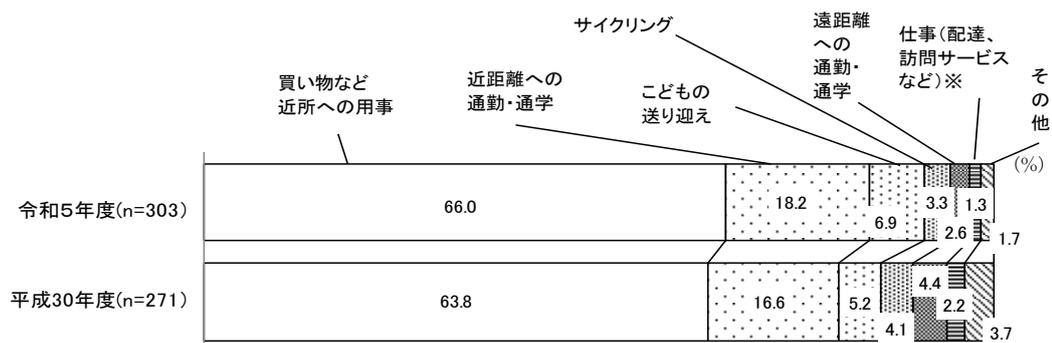


※「近距離」とは、概ね10分～15分以内(2～3キロメートル程度)で、最寄駅や職場・学校に到達できる場合とします。それを超える場合は「遠距離」とします。

【調査結果の概要】

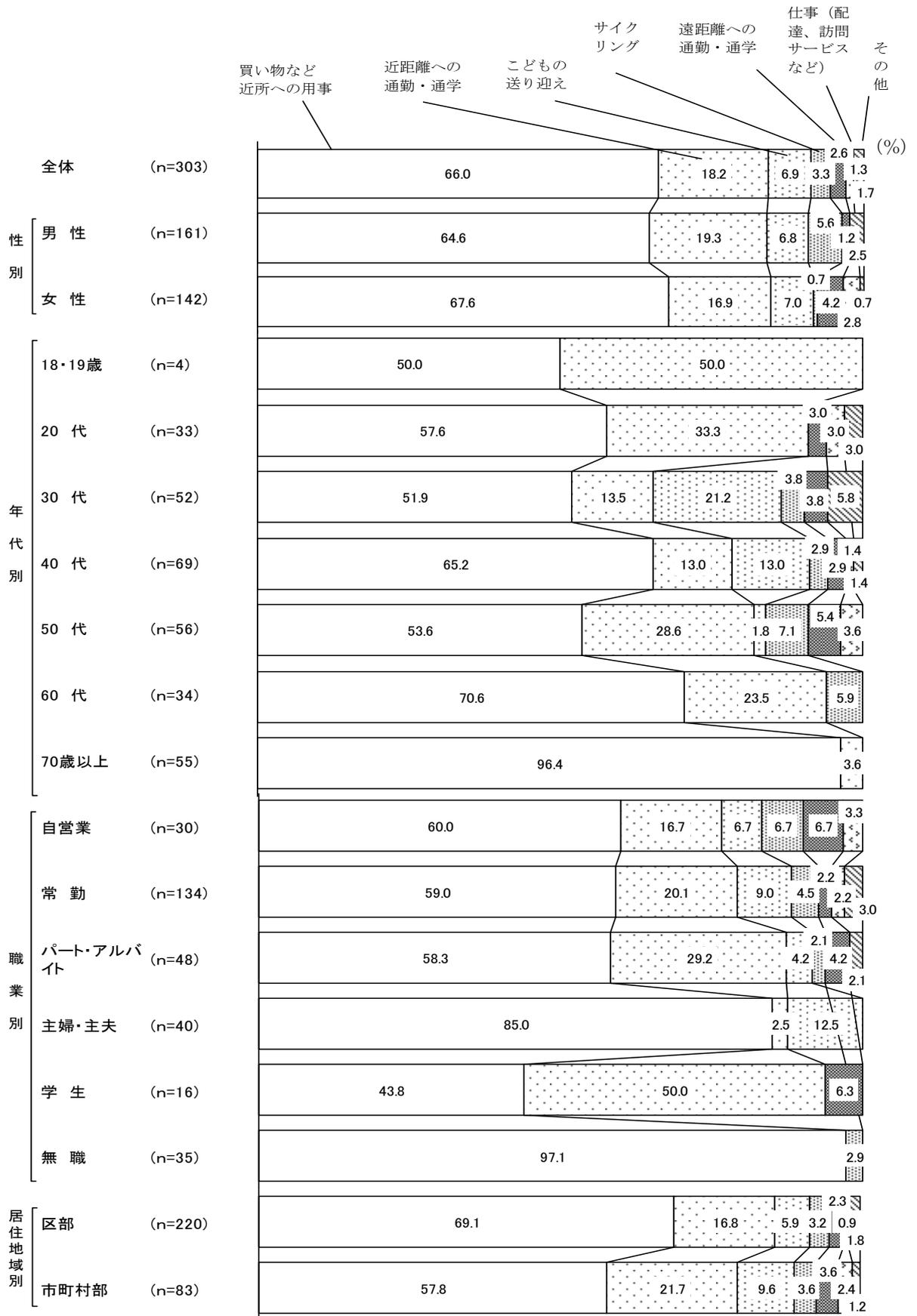
Q2で「週に4日以上」「週に2日から3日」「週に1日程度」「月に数回程度」を選んだ方に、日常の生活で、自転車を利用する主な目的を聞いたところ、「買い物など近所への用事」(66.0%)が6割半ばで最も高く、以下、「近距離への通勤・通学」(18.2%)、「こどもの送り迎え」(6.9%)、「サイクリング」(3.3%)などと続いている。

◎前回調査との比較 (前回：平成30年6月実施「自転車の安全で適正な利用」)



※ 前は「仕事(配達など)」で集計

◎自転車利用の目的（属性別）



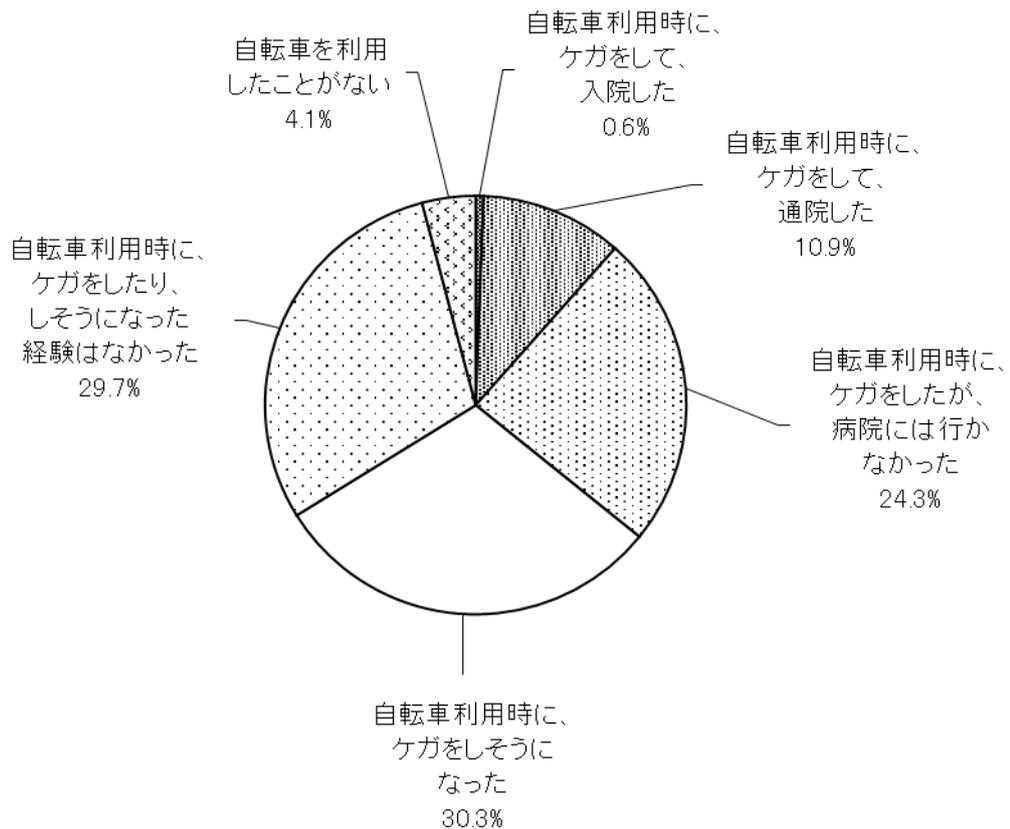
※未回答の選択肢については、0%表示を省略

自転車利用時の危害危険

Q 4 あなたは今まで、自転車利用時に、接触や衝突、転倒などにより、ケガをしたり、しそうになった経験がありますか。経験が複数回ある場合は、最も重いあるいは記憶に残っている経験についてお答えください。

現在、自転車を利用していない方も、過去の経験でお答えください。

(n=485)

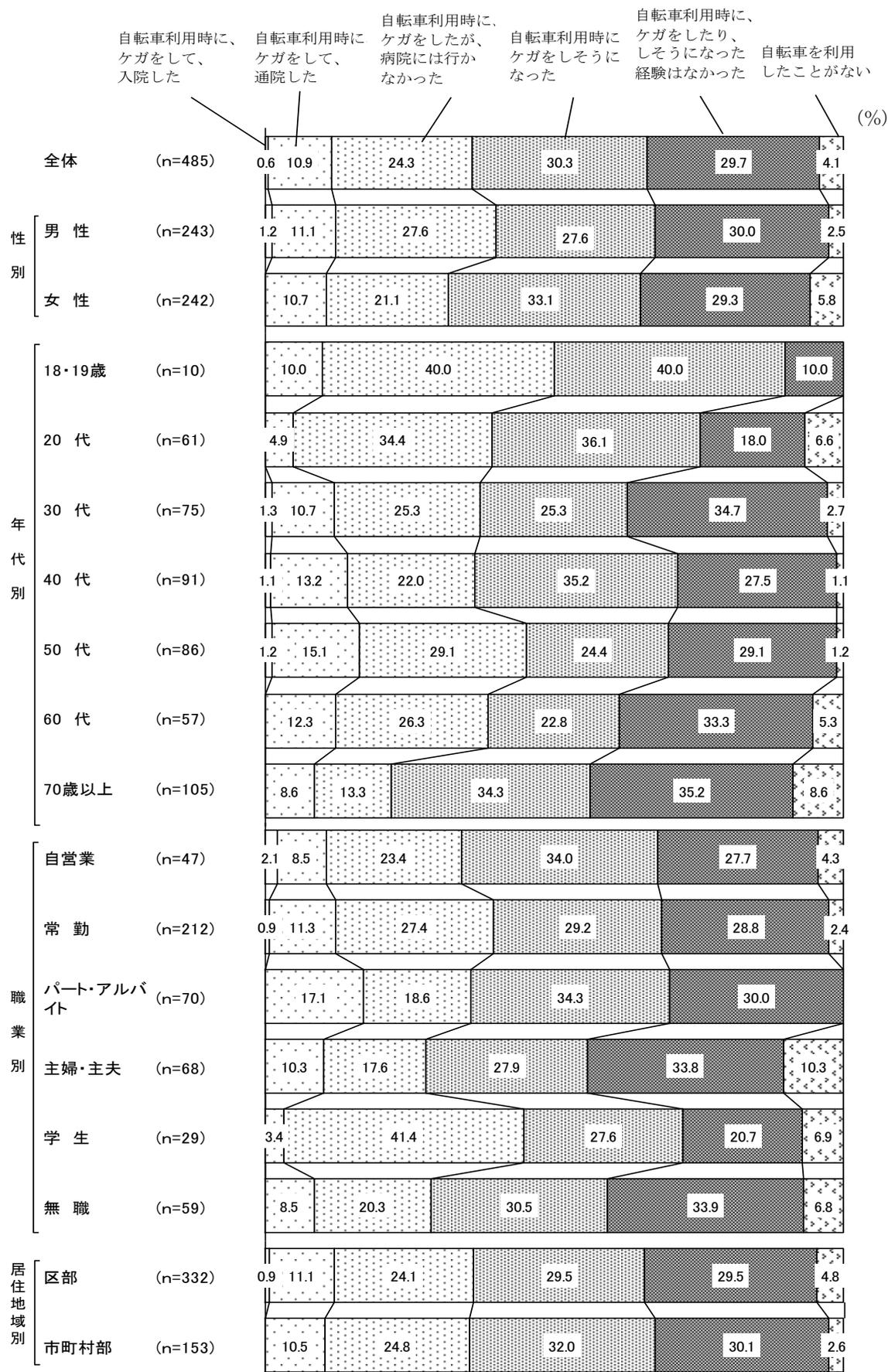


【調査結果の概要】

自転車利用時に、接触や衝突、転倒などにより、ケガをしたり、しそうになった経験があるかを聞いたところ、『ある（計）』（66.1%）（「自転車利用時に、ケガをして、入院した」（0.6%）、「自転車利用時に、ケガをして、通院した」（10.9%）、「自転車利用時に、ケガをしたが、病院には行かなかった」（24.3%）、「自転車利用時に、ケガをしそうになった」（30.3%））が6割半ばだった。

「自転車利用時に、ケガをしたり、しそうになった経験はなかった」（29.7%）は約3割だった。

◎自転車利用時の危害危険（属性別）

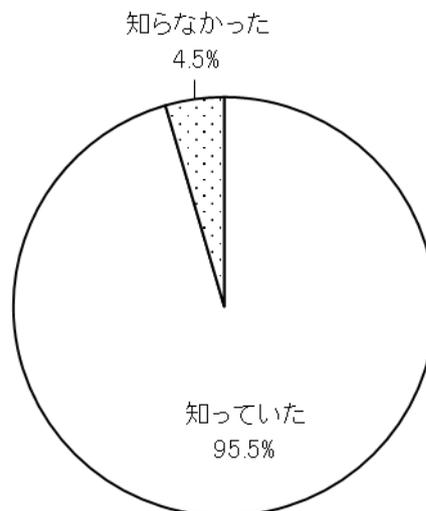


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

自転車利用者のヘルメット着用の努力義務化の認知度

Q 5 あなたは、改正道路交通法の施行により、今年の令和5年4月1日から、すべての自転車利用者にヘルメットの着用が努力義務化されたことを知っていましたか。

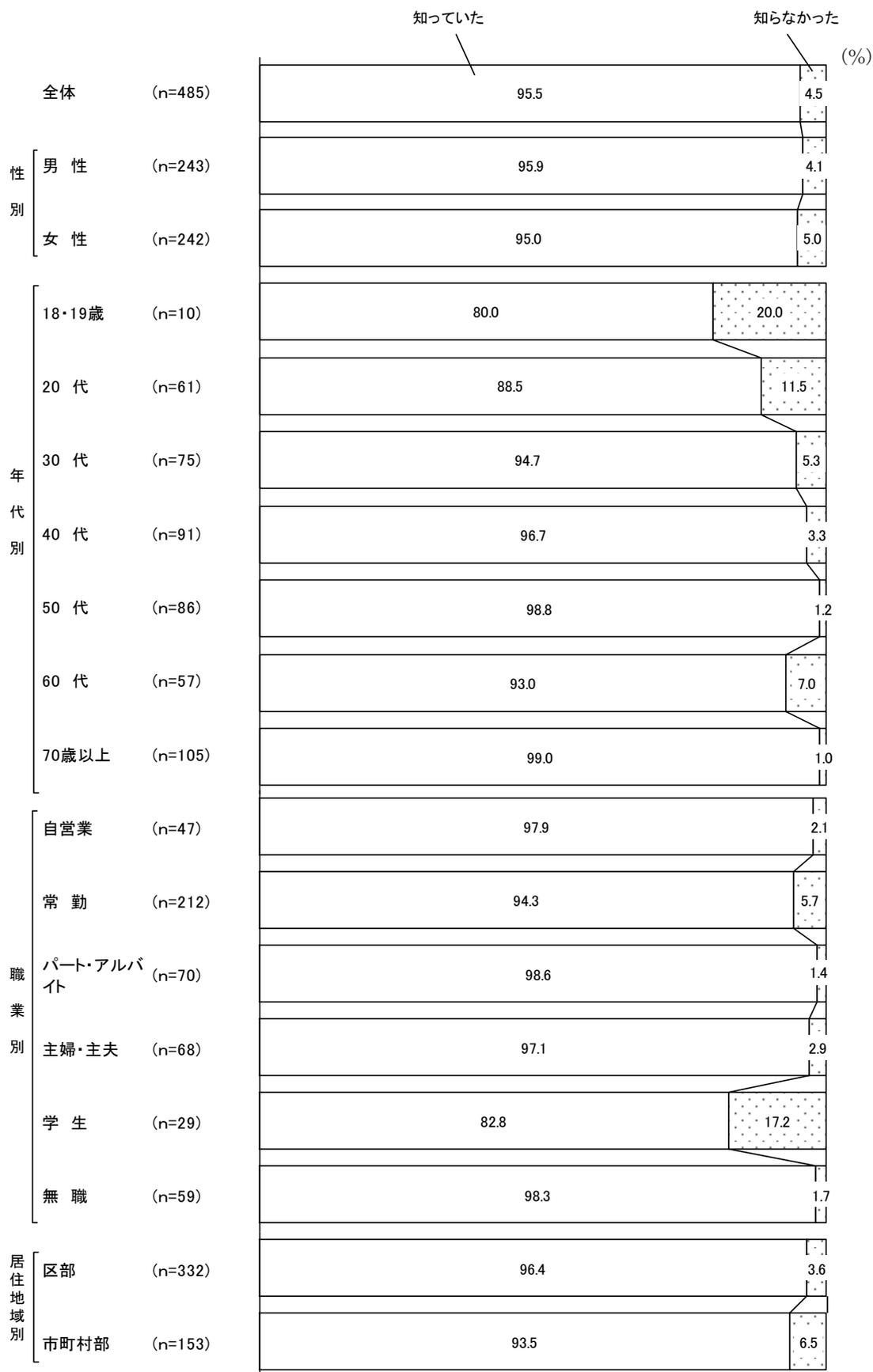
(n=485)



【調査結果の概要】

すべての自転車利用者にヘルメットの着用が努力義務化されたことを知っているか聞いたところ、「知っていた」(95.5%)が9割半ばだった。

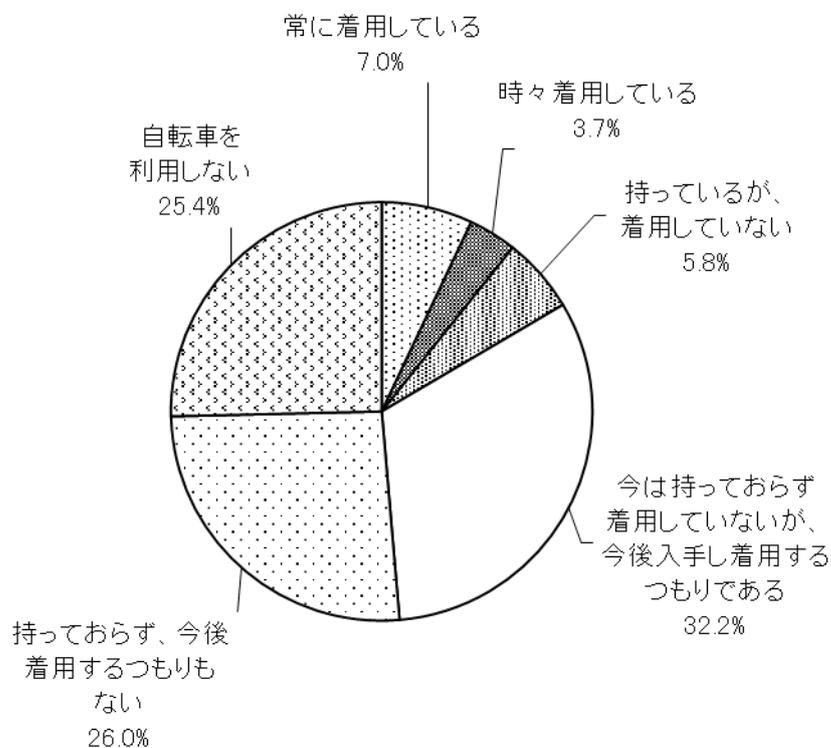
◎自転車利用者のヘルメット着用の努力義務化の認知度（属性別）



ヘルメット着用状況

Q 6 あなたは自転車利用時に、自転車用ヘルメット（以下「ヘルメット」と呼びます。）を「常に着用」していますか。

(n=485)



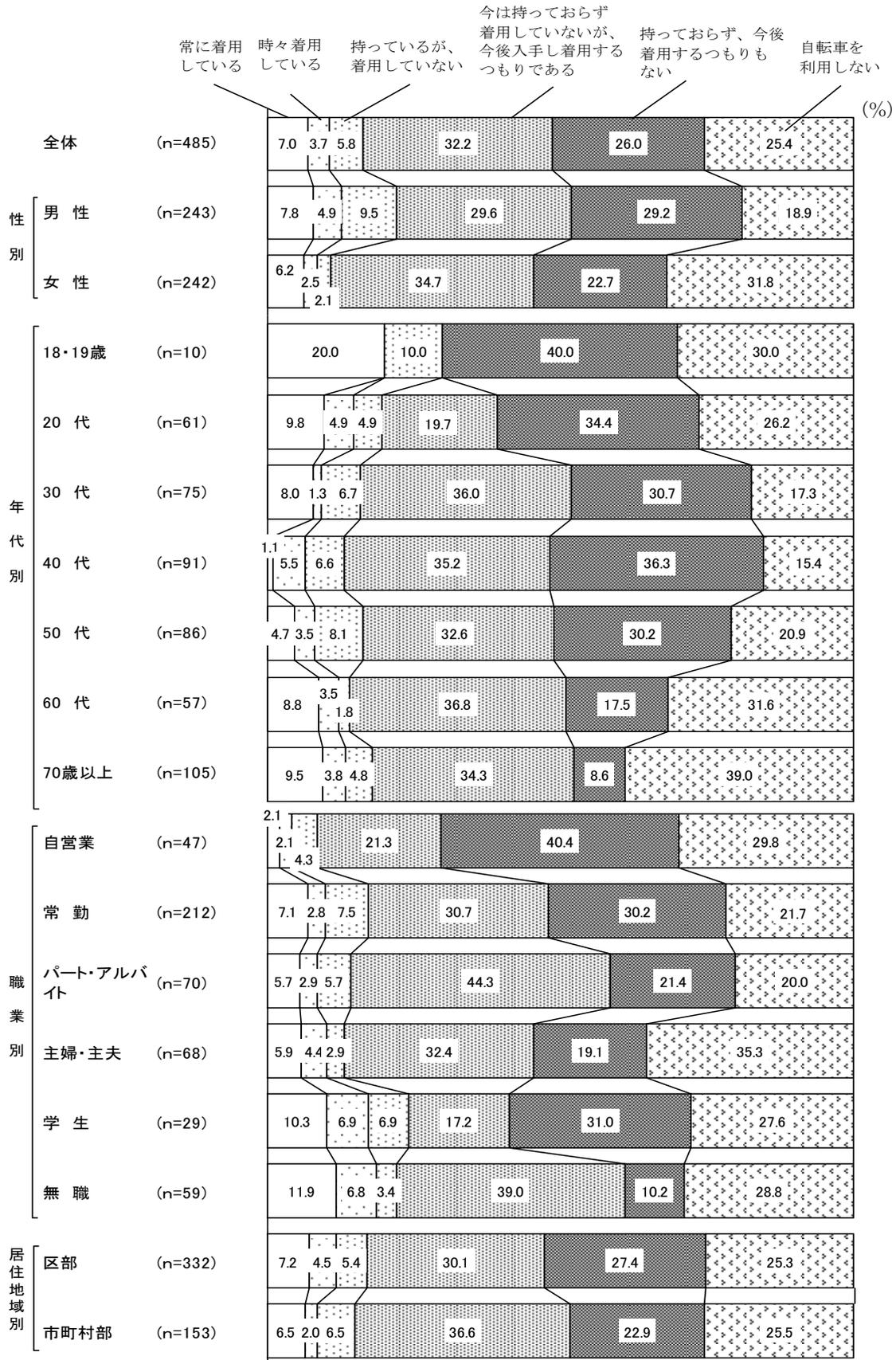
【調査結果の概要】

自転車利用時に、ヘルメットを常に着用しているかを聞いたところ、『着用している（計）』（10.7%）（「常に着用している」（7.0%）、「時々着用している」（3.7%））が約1割だった。

また、「今は持っておらず着用していないが、今後入手し着用するつもりである」（32.2%）が3割超だった。

なお、「持っておらず、今後着用するつもりもない」（26.0%）は、2割半ばだった。

◎ヘルメット着用状況（属性別）



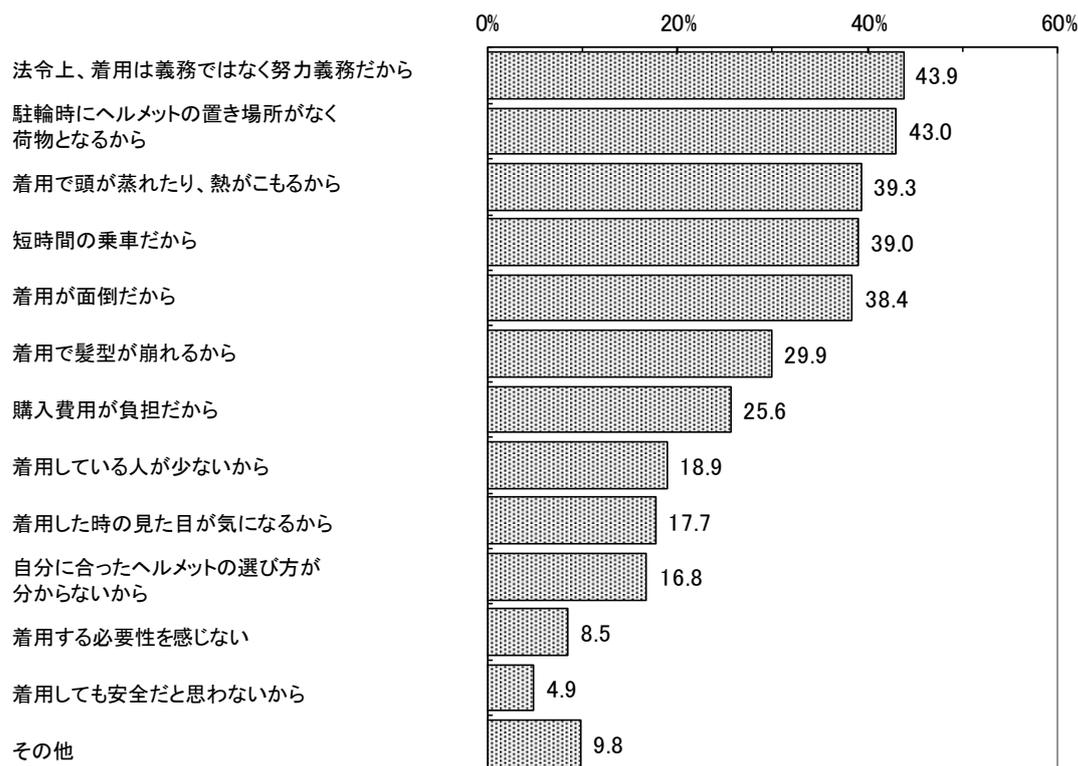
※未回答の選択肢については、0%表示を省略

ヘルメットを着用しない理由

Q7 Q6で「時々着用している」「持っているが、着用していない」「今は持っておらず着用していないが、今後入手し着用するつもりである」「持っておらず、今後着用するつもりもない」を選んだ方にお聞きします。

あなたが自転車利用時にヘルメットを着用していない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

(MA) (n=328)



【調査結果の概要】

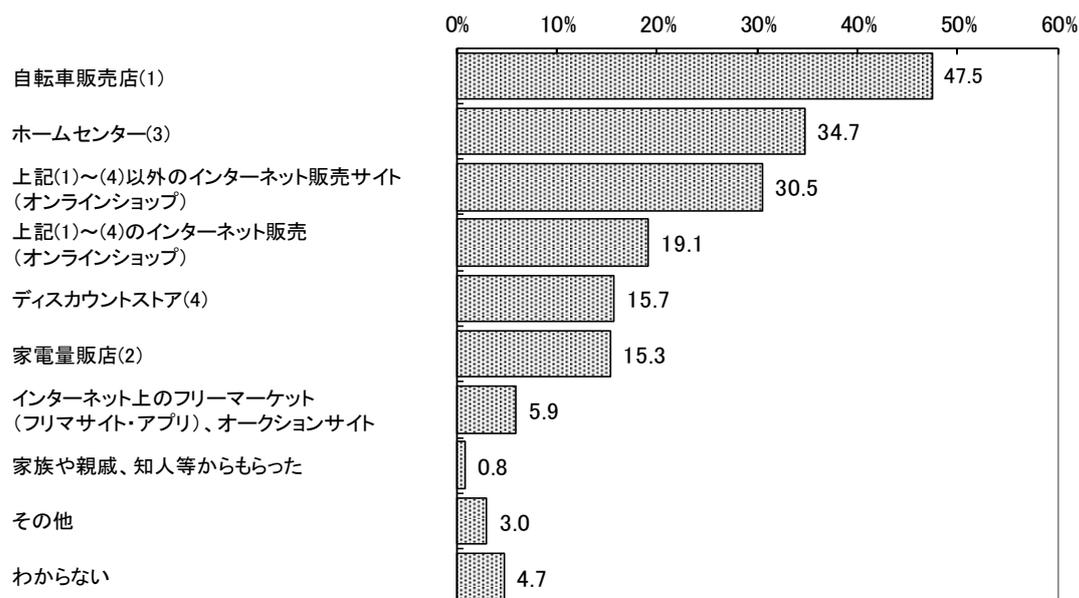
Q6で「時々着用している」「持っているが、着用していない」「今は持っておらず着用していないが、今後入手し着用するつもりである」「持っておらず、今後着用するつもりもない」を選んだ方に、ヘルメットを着用していない理由を聞いたところ、「法令上、着用は義務ではなく努力義務だから」(43.9%)が4割半ばで最も高く、以下、「駐輪時にヘルメットの置き場所がなく荷物となるから」(43.0%)、「着用で頭が蒸れたり、熱がこもるから」(39.3%)などと続いている。

ヘルメットの入手・購入場所

Q 8 Q 6で「常に着用している」「時々着用している」「持っているが、着用していない」「今は持っておらず着用していないが、今後入手し着用するつもりである」を選んだ方にお聞きします。

あなたがヘルメットを入手・購入した（入手・購入しようとする）場所はどこですか。次の中からいくつでも選んでください。

(MA) (n=236)



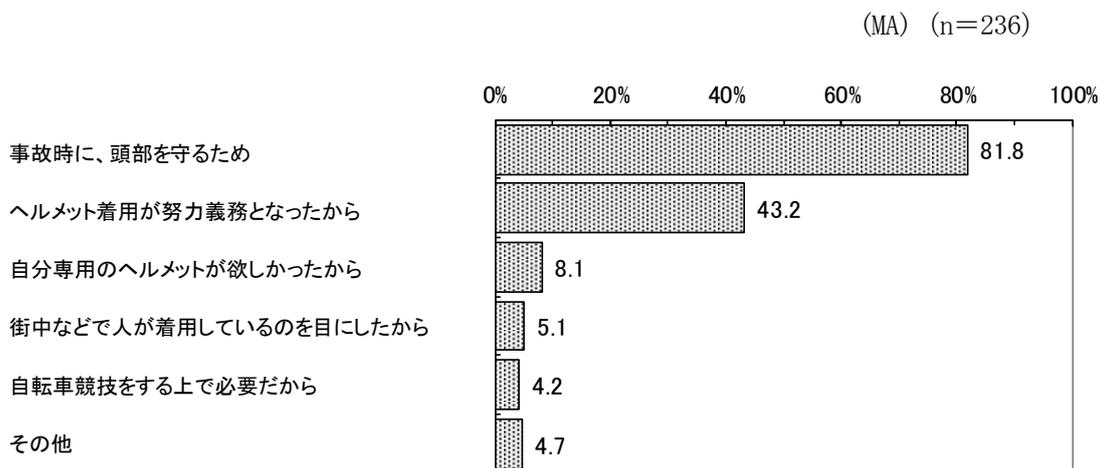
【調査結果の概要】

Q 6で「常に着用している」「時々着用している」「持っているが、着用していない」「今は持っておらず着用していないが、今後入手し着用するつもりである」を選んだ方に、ヘルメットを入手・購入した（入手・購入しようとする）場所を聞いたところ、「自転車販売店」（47.5%）が5割近くで最も高く、以下、「ホームセンター」（34.7%）、「インターネット販売サイト（オンラインショップ）」（30.5%）などと続いている。

ヘルメットの入手・購入動機

Q9 Q6でヘルメットを「常に着用している」「時々着用している」「持っているが、着用していない」「今は持っておらず着用していないが、今後入手し着用するつもりである」を選んだ方にお聞きします。

あなたが自分用のヘルメットを入手・購入した（入手・購入しようとする）動機は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。



【調査結果の概要】

Q6でヘルメットを「常に着用している」「時々着用している」「持っているが、着用していない」「今は持っておらず着用していないが、今後入手し着用するつもりである」を選んだ方に、自分用のヘルメットを入手・購入した（入手・購入しようとする）動機を聞いたところ、「事故時に、頭部を守るため」（81.8%）が8割を超えて最も高く、以下、「ヘルメット着用が努力義務となったから」（43.2%）、「自分専用のヘルメットが欲しかったから」（8.1%）などと続いている。

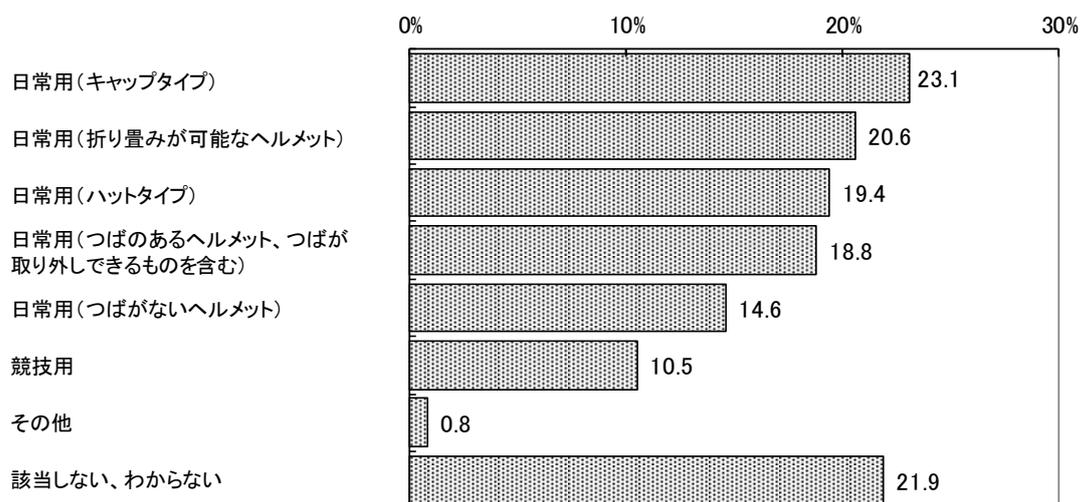
入手・購入したヘルメットの種類

Q10 あなたが入手・購入したヘルメットの種類はどれですか。次の中からいくつでも選んでください。

ヘルメットをお持ちでない方は、今後入手・購入するとしたら、どのヘルメットがいいですか。

※下記のイラスト（例）を参考にしてください。

(MA) (n=485)



※イラスト（例）

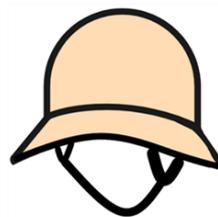
1 日常用
(つばがないヘルメット)



2 日常用
(つばのあるヘルメット、つばが取り外しできるものを含む)



3 日常用
(ハットタイプ)



4 日常用
(キャップタイプ)



5 日常用
(折り畳みが可能なヘルメット)



6 競技用



【調査結果の概要】

入手・購入した（入手・購入するとしたら）ヘルメットの種類について、どのヘルメットがいいかを聞いたところ、「日常用（キャップタイプ）」（23.1%）が2割を超えて最も高く、以下、「日常用（折り畳みが可能なヘルメット）」（20.6%）、「日常用（ハットタイプ）」（19.4%）などと続いている。

◎入手・購入したヘルメットの種類（ヘルメット着用状況別）

(%)

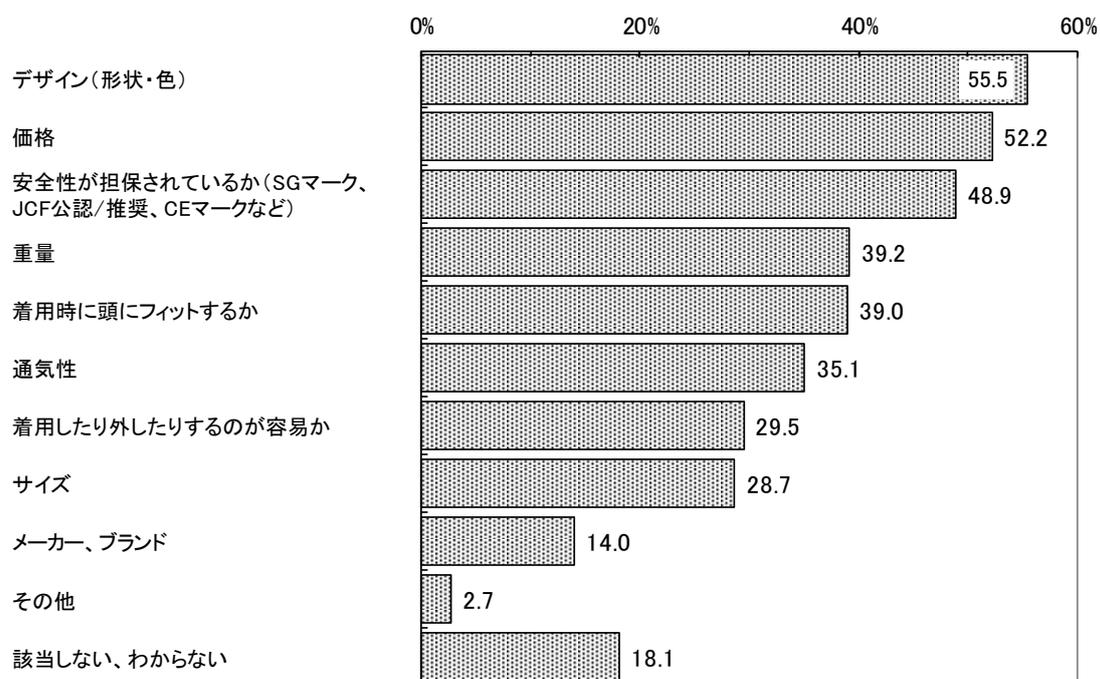
		n	Q10.あなたが入手・購入したヘルメットの種類はどれですか。 次の中からいくつでも選んでください。ヘルメットをお持ちでない方は、 今後入手・購入するとしたら、どのヘルメットがいいですか。							
			日常用（キャップタイプ）	日常用（折り畳み可能なヘルメット）	日常用（ハットタイプ）	日常用（つばのあるヘルメット、つばが取り外しできるものを含む）	日常用（つばがないヘルメット）	競技用	その他	該当しない、わからない
Q6.あなたは自転車利用時に、自転車用ヘルメット（以下「ヘルメット」と呼びます。）を「常に着用」していますか。	全体	485	23.1	20.6	19.4	18.8	14.6	10.5	0.8	21.9
	常に着用している	34	11.8	0.0	8.8	20.6	38.2	35.3	2.9	0.0
	時々着用している	18	16.7	5.6	0.0	44.4	22.2	16.7	0.0	0.0
	持っているが、着用していない	28	10.7	3.6	3.6	21.4	25.0	53.6	0.0	0.0
	今は持っておらず着用していないが、今後入手し着用するつもりである	156	32.7	28.2	30.8	28.2	18.6	7.1	1.9	7.1
	持っておらず、今後着用するつもりもない	126	25.4	23.0	21.4	9.5	8.7	7.9	0.0	27.0
	自転車を利用しない	123	15.4	20.3	12.2	11.4	5.7	0.0	0.0	49.6

ヘルメットの選択理由

Q11 あなたが持っているヘルメットを選択した理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

ヘルメットをお持ちでない方は、今後入手・購入するとしたら、何が選択の決め手になりますか。

(MA) (n=485)



【調査結果の概要】

持っているヘルメットを選択した（今後入手・購入する）理由は何かを聞いたところ、「デザイン（形状・色）」（55.5%）が5割半ばと最も高く、以下、「価格」（52.2%）、「安全性が担保されているか（SGマーク、JCF公認/推奨、CEマークなど）」（48.9%）などと続いている。

◎ヘルメットの選択理由（ヘルメット着用状況別）

(%)

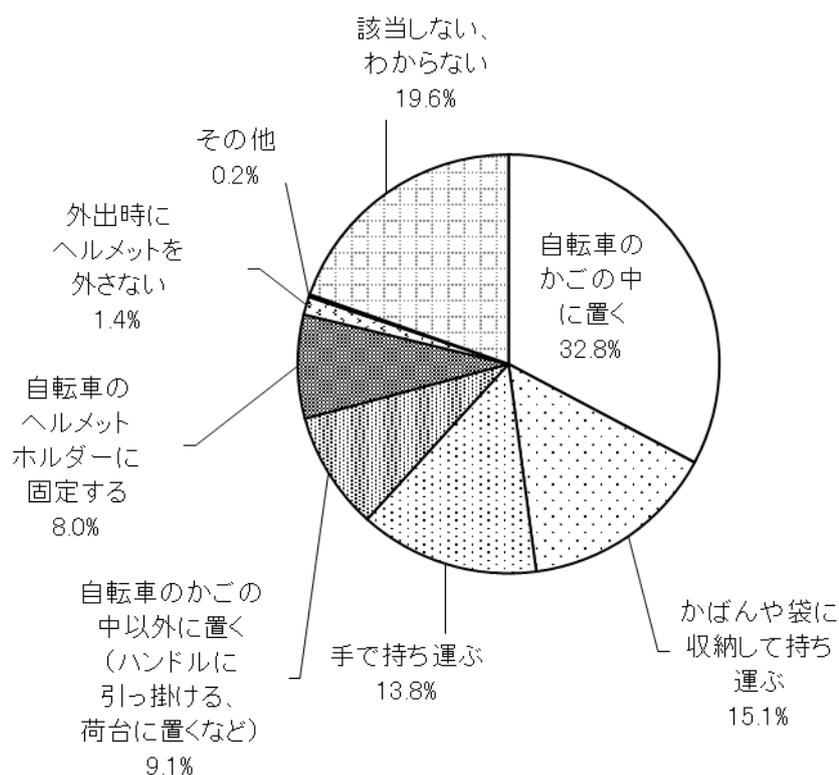
		n	Q11.あなたが持っているヘルメットを選択した理由は何ですか。 次の中からいくつでも選んでください。ヘルメットをお持ちでない方は、 今後入手・購入するとしたら、何が選択の決め手になりますか。										
			デザイン (形状・色)	価格	マーク など)	安全性 が担保 されて いるか (JCS F公認 /推奨 か、CS EG)	重量	着用 時に 頭に フィット するか	通気 性	着用 したり 外したり する のが 容易 か	サイズ	メー カー、 ブラン ド	その他
Q6.あなたは自転車利用時に、自転車用ヘルメット(以下「ヘルメット」と呼びます。)を「常に着用」していますか。	全 体	485	55.5	52.2	48.9	39.2	39.0	35.1	29.5	28.7	14.0	2.7	18.1
	常に着用している	34	67.6	55.9	55.9	35.3	44.1	41.2	23.5	38.2	26.5	5.9	0.0
	時々着用している	18	50.0	50.0	38.9	33.3	27.8	27.8	22.2	22.2	22.2	0.0	0.0
	持っているが、着用していない	28	57.1	64.3	46.4	35.7	28.6	28.6	14.3	21.4	17.9	3.6	7.1
	今は持っておらず着用していないが、今後入手し着用するつもりである	156	73.1	67.9	65.4	46.2	48.7	42.3	36.5	44.2	15.4	1.3	3.2
	持っておらず、今後着用するつもりもない	126	57.9	51.6	36.5	42.9	31.7	34.9	30.2	20.6	12.7	4.0	21.4
	自転車を利用しない	123	27.6	29.3	40.7	29.3	36.6	26.8	26.0	17.1	8.1	2.4	43.9

外出時にヘルメットを外した際の扱い

Q12 あなたは外出時に駐輪した際に外したヘルメットを主にどのように扱っていますか。複数のヘルメットを持っている場合は、最も使用しているヘルメットについて回答してください。

ヘルメットを着用しない方は、ヘルメットを着用した場合を想定してください。

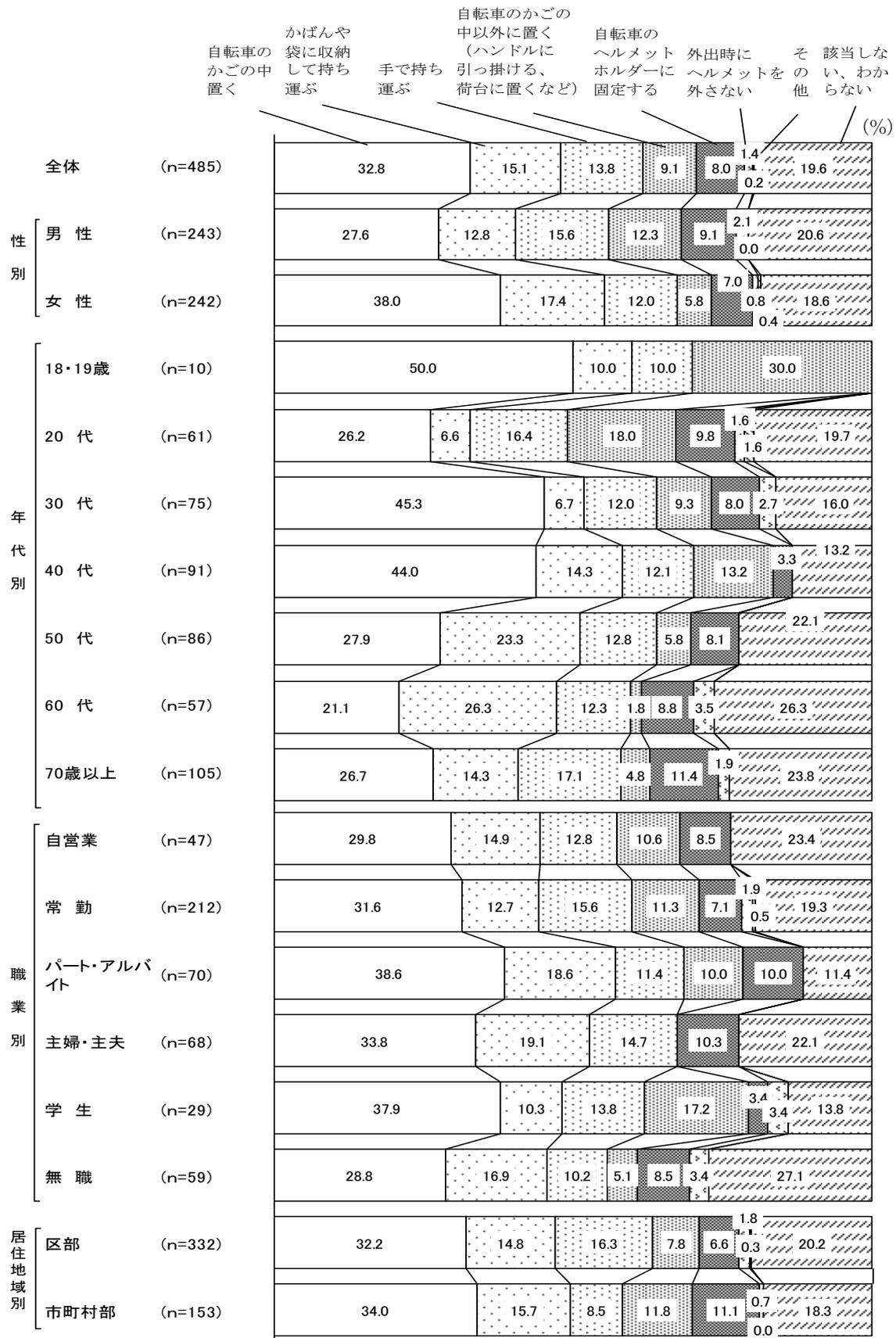
(n=485)



【調査結果の概要】

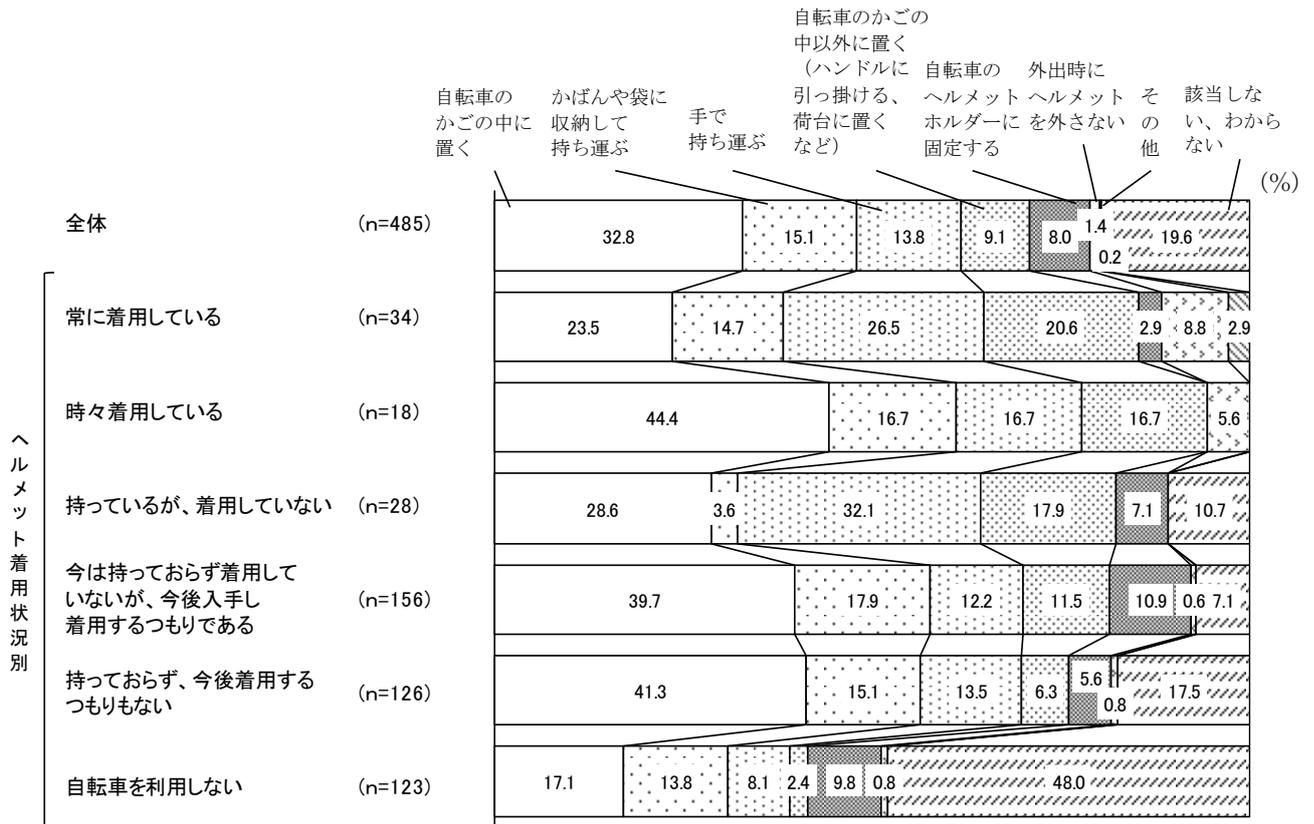
外出時に外したヘルメットを主にどのように扱っているか（ヘルメット未着用の方は着用を想定）を聞いたところ、「自転車のかごの中に置く」（32.8%）が3割を超えて最も高く、以下、「かばんや袋に収納して持ち運ぶ」（15.1%）、「手で持ち運ぶ」（13.8%）などと続いている。

◎外出時にヘルメットを外した際の扱い（属性別）



※未回答の選択肢については、0%表示を省略

◎外出時にヘルメットを外した際の扱い（ヘルメット着用状況別）



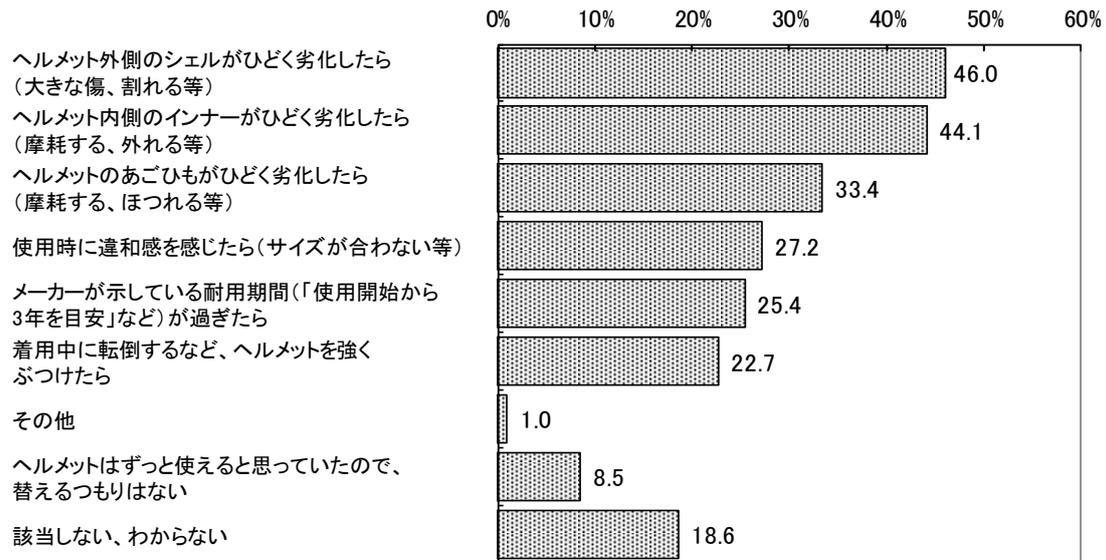
※未回答の選択肢については、0%表示を省略

ヘルメットの取替えのタイミング

Q13 あなたはヘルメットをどのタイミングで替えましたか。または替えようと思いませんか。次の中からいくつでも選んでください。

ヘルメットをお持ちでない方は、ヘルメットを利用するとしたら、取り替えるタイミングはどういう時だと思いますか。

(MA) (n=485)



【調査結果の概要】

ヘルメットをどのタイミングで替えたいか、または替えようと思うか(ヘルメット未所持の方は、利用すると想定して)聞いたところ、「ヘルメット外側のシェルがひどく劣化したら(大きな傷、割れる等)」(46.0%)が4割半ばで最も高く、以下、「ヘルメット内側のインナーがひどく劣化したら(摩耗する、外れる等)」(44.1%)、「ヘルメットのあごひもがひどく劣化したら(摩耗する、ほつれる等)」(33.4%)などと続いている。

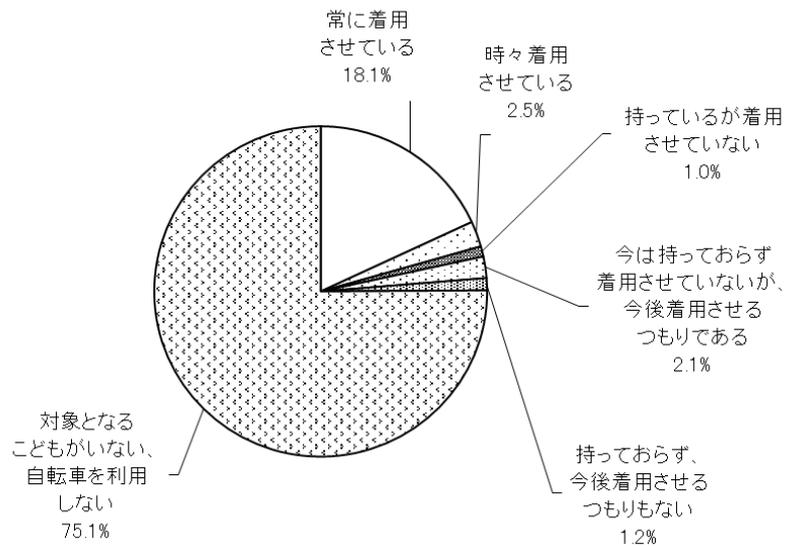
こどものヘルメット着用状況

Q14 13歳未満のご家族についてお聞きします。

あなたは、13歳未満のお子様の自転車利用中にヘルメットを着用させていますか。
(幼児用座席での乗車も含みます)

13歳未満のお子様が2人以上いらっしゃる場合は、年長のお子様についてお答えください。

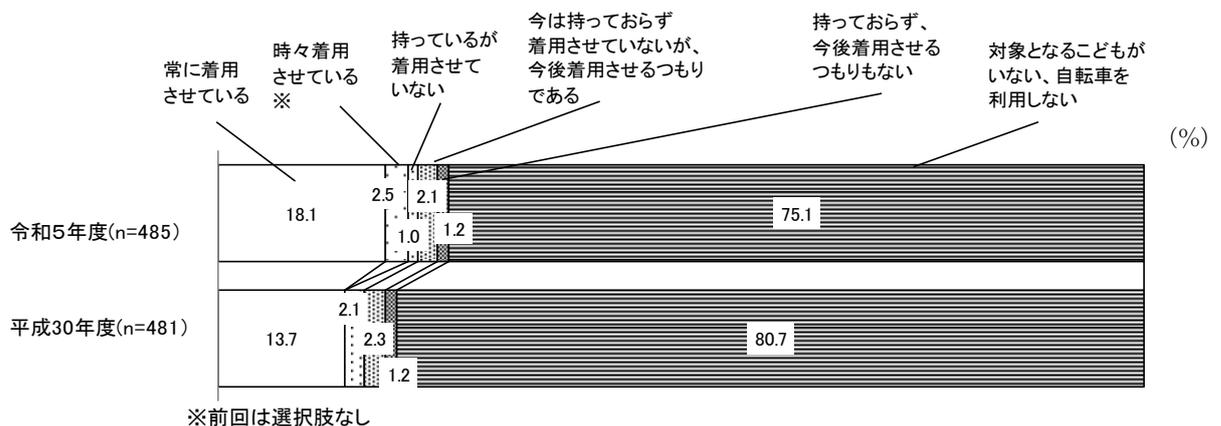
(n=485)



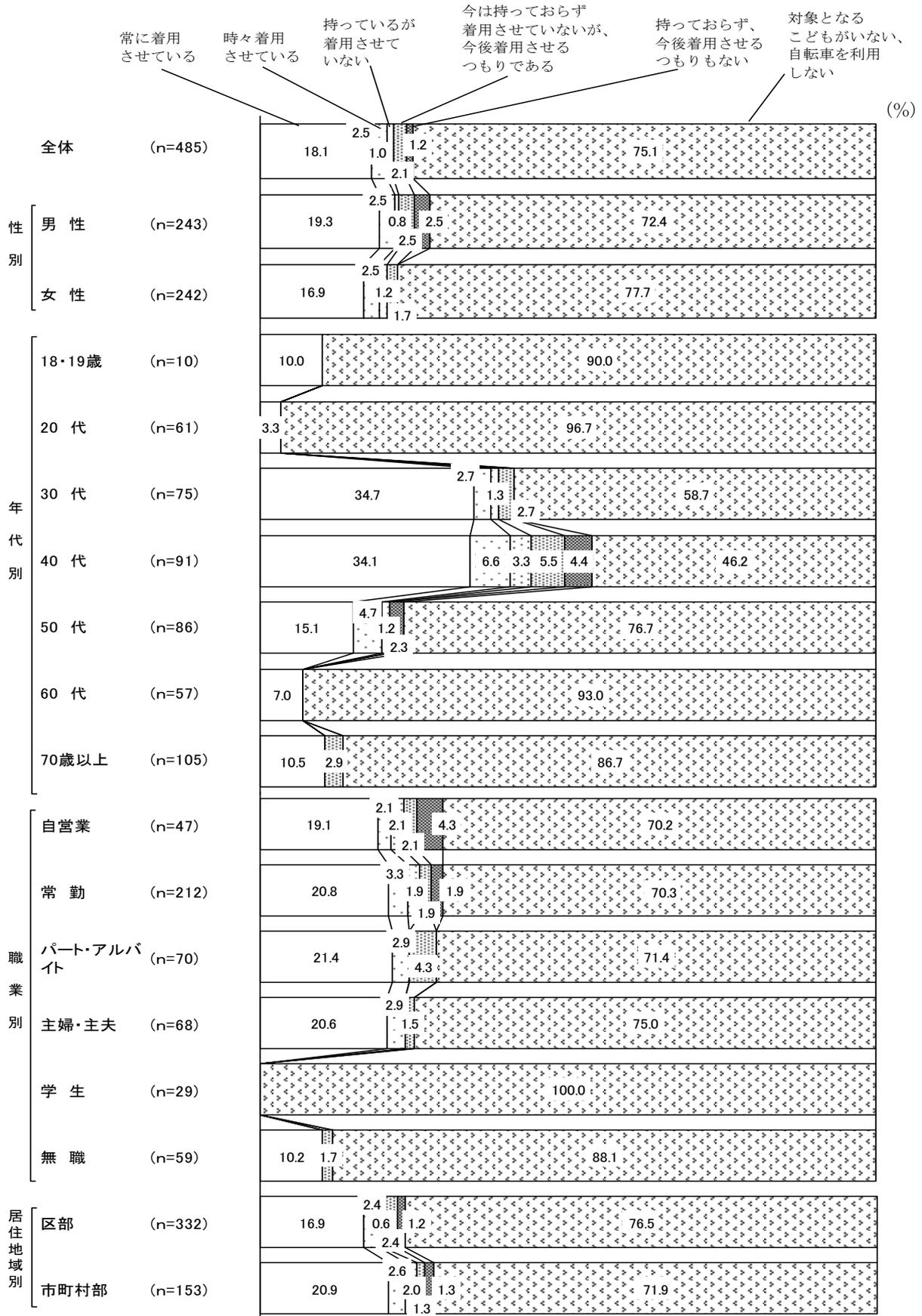
【調査結果の概要】

13歳未満のお子様の自転車利用中にヘルメットを着用させているかを聞いたところ、「常に着用させている」(18.1%)が2割近くで最も高く、以下、「時々着用させている」(2.5%)、「今は持っておらず着用させていないが、今後着用させるつもりである」(2.1%)などと続いている。

◎前回調査との比較〈前回：平成30年6月実施「自転車の安全で適正な利用」〉



◎子どものヘルメット着用状況（属性別）



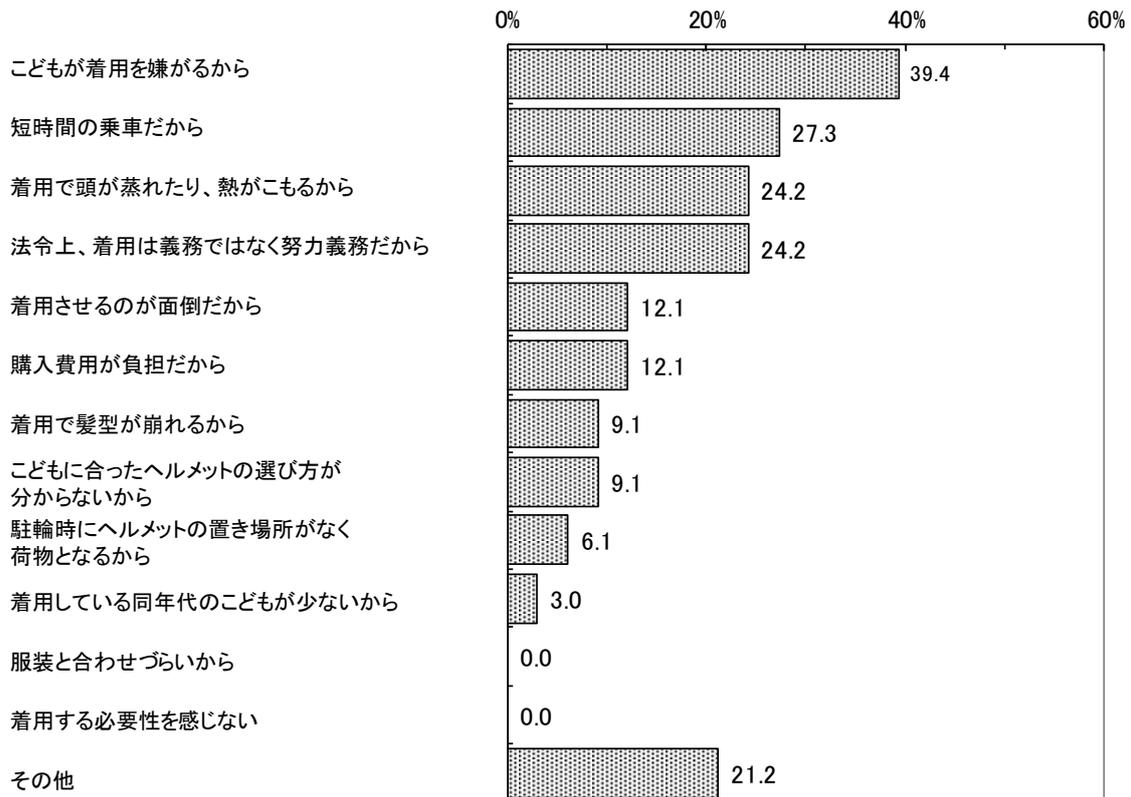
※未回答の選択肢については、0%表示を省略

こどもにヘルメットを着用させない理由

Q15 Q14でヘルメットを「時々着用させている」「持っているが、着用させていない」「今は持っておらず着用させていないが、今後着用させるつもりである」「持っておらず、今後も着用させるつもりもない」を選んだ方にお聞きします。

あなたがお子様の自転車利用中にヘルメットを着用させない、お子様が着用しない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

(MA) (n=33)



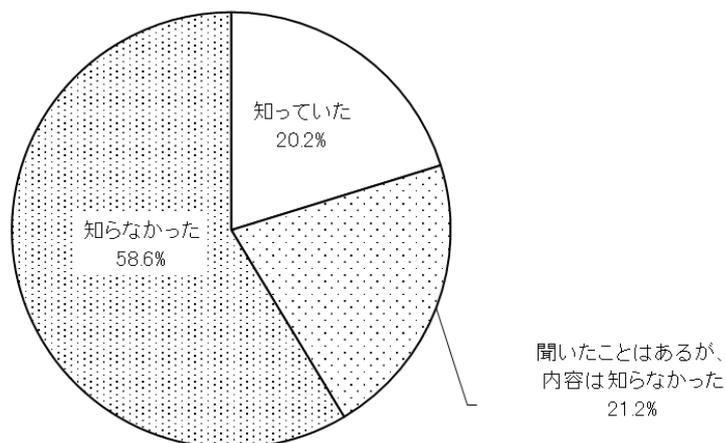
【調査結果の概要】

Q14でヘルメットを「時々着用させている」「持っているが、着用させていない」「今は持っておらず着用させていないが、今後着用させるつもりである」「持っておらず、今後も着用させるつもりもない」を選んだ方に、こどもにヘルメットを着用させない、着用しない理由を聞いたところ、「こどもが着用を嫌がるから」(39.4%)が4割近くで最も高く、以下、「短時間の乗車だから」(27.3%)、「着用で頭が蒸れたり、熱がこもるから」(24.2%)「法令上、着用は義務ではなく努力義務だから」(24.2%)などと続いている。

ヘルメットの耐用期間に関する認知度

Q16 あなたはヘルメットに耐用期間（使用開始から3年を目安に新調を推奨）があることを知っていましたか。

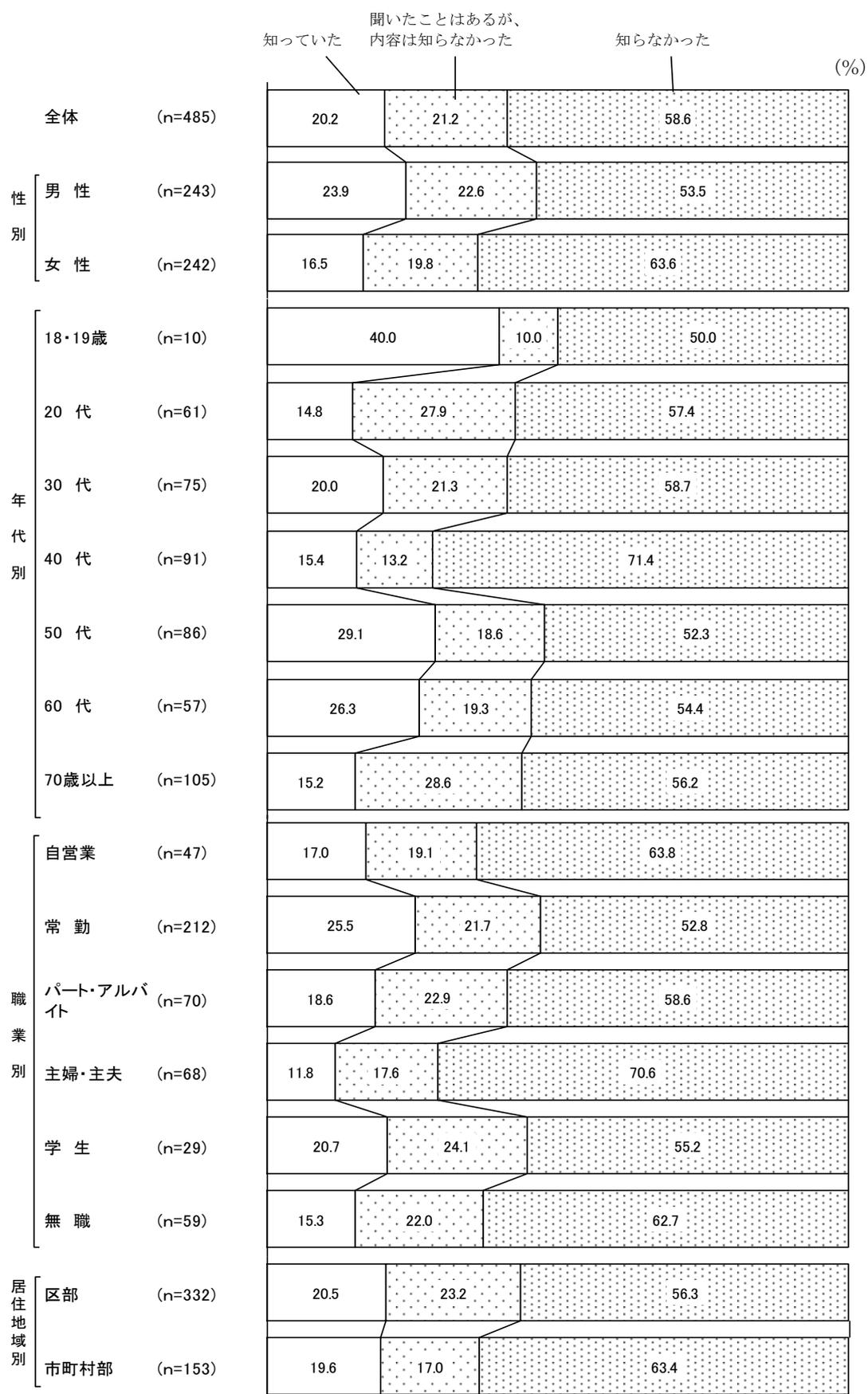
(n=485)



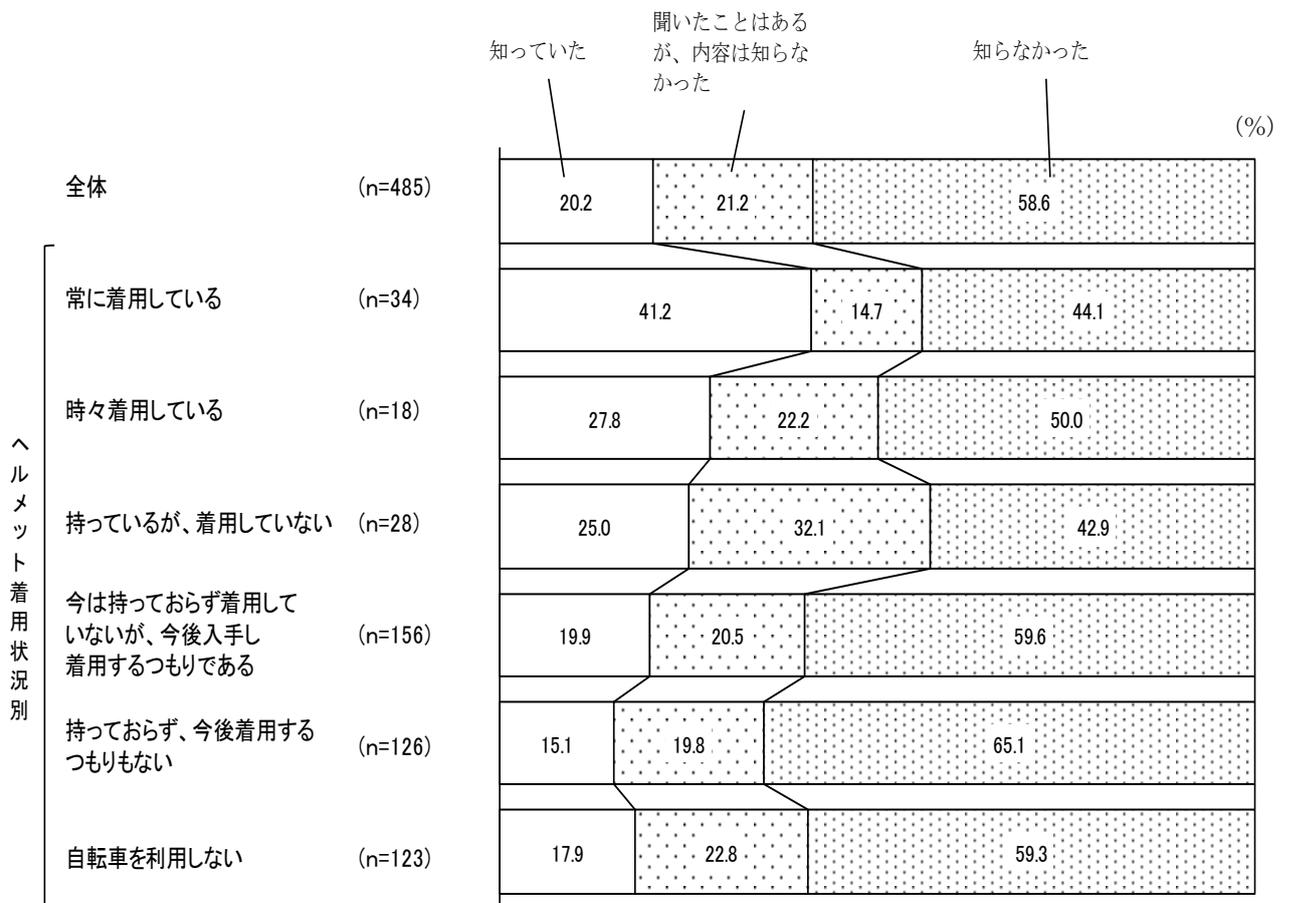
【調査結果の概要】

ヘルメットに耐用期間があることを知っているか聞いたところ、『知っていた（計）』（41.4%）（「知っていた」（20.2%）、「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」（21.2%））が約4割であり、「知らなかった」（58.6%）は6割近くだった。

◎ヘルメットの耐用期間に関する認知度（属性別）



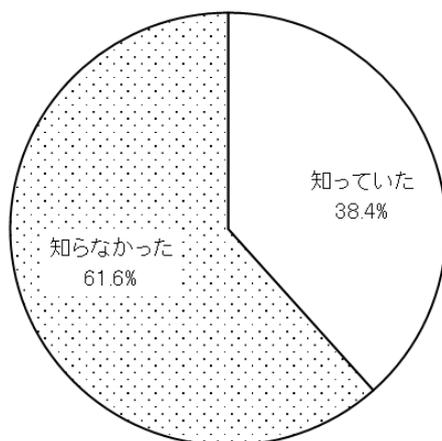
◎ヘルメットの耐用期間に関する認知度（ヘルメット着用状況別）



衝撃を受けたヘルメットに関する認知度

Q17 あなたは、転倒した時などに衝撃を受けたヘルメットは、十分な保護性能を発揮しない恐れがあるため、継続して使用してはいけないことを知っていましたか。

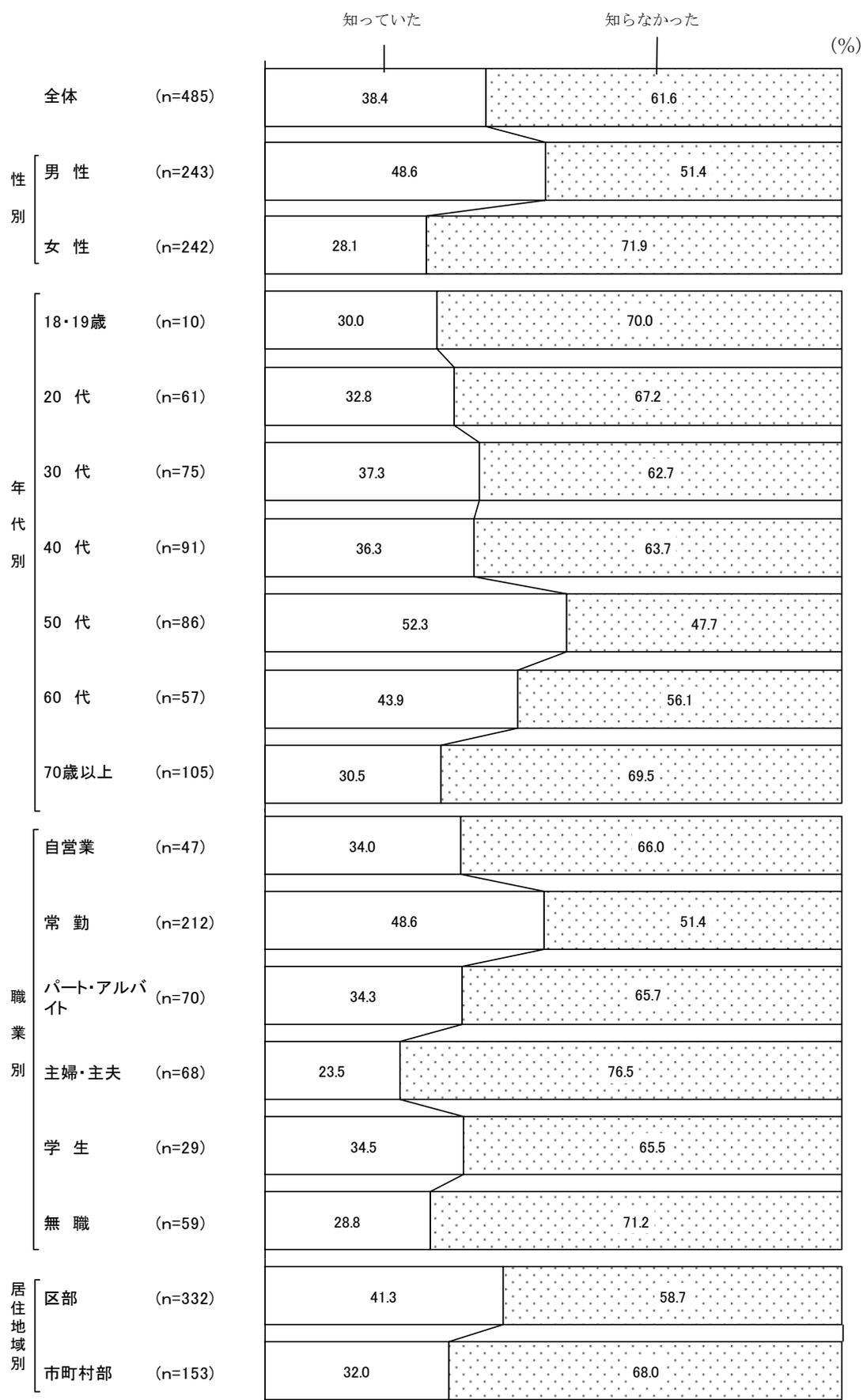
(n=485)



【調査結果の概要】

転倒した時などに衝撃を受けたヘルメットは、十分な保護性能を発揮しない恐れがあるため、継続して使用してはいけないことを知っていたかを聞いたところ、「知っていた」(38.4%)が4割近くであり、「知らなかった」(61.6%)は6割超だった。

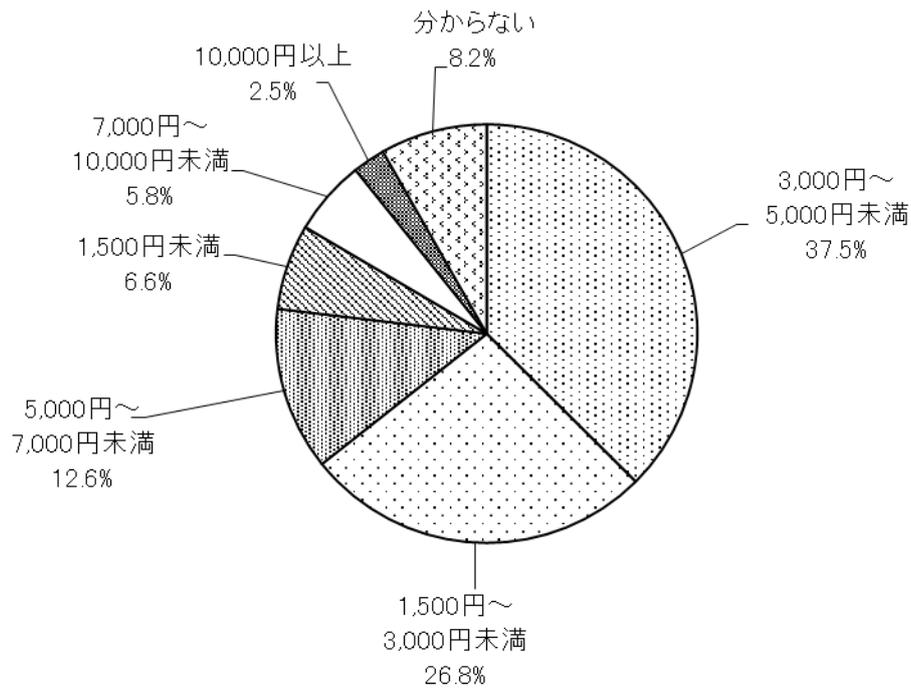
◎衝撃を受けたヘルメットに関する認知度（属性別）



ヘルメットの希望価格

Q18 あなたが、自分用に日常的に使用するためのヘルメットを購入する場合、適当と思う金額を選んでください。

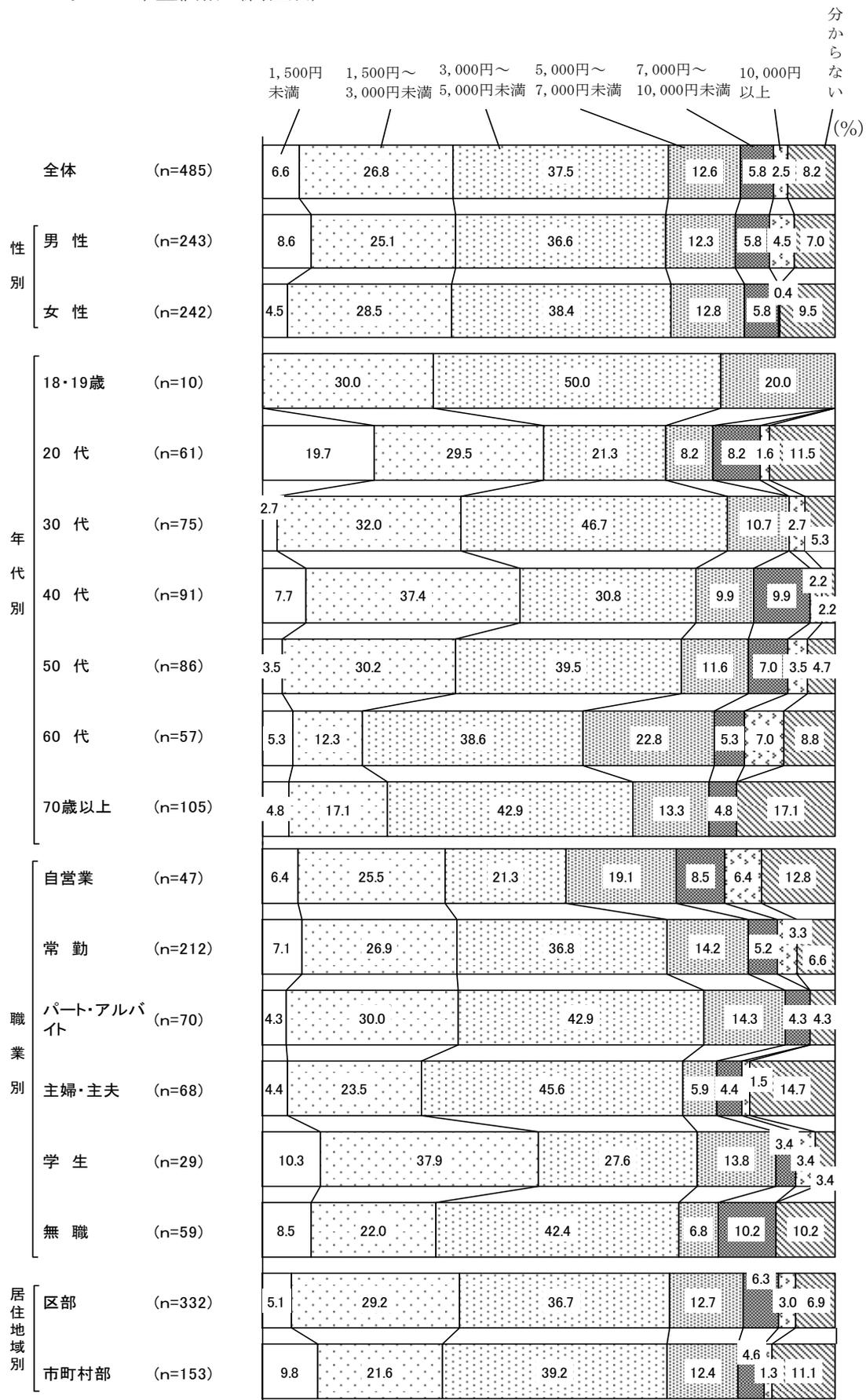
(n=485)



【調査結果の概要】

自分用に日常的に使用するためのヘルメットを購入する場合、適当と思う金額を聞いたところ、「3,000円～5,000円未満」(37.5%)が4割近くで最も高く、以下、「1,500円～3,000円未満」(26.8%)、「5,000円～7,000円未満」(12.6%)などと続いている。

◎ヘルメットの希望価格（属性別）

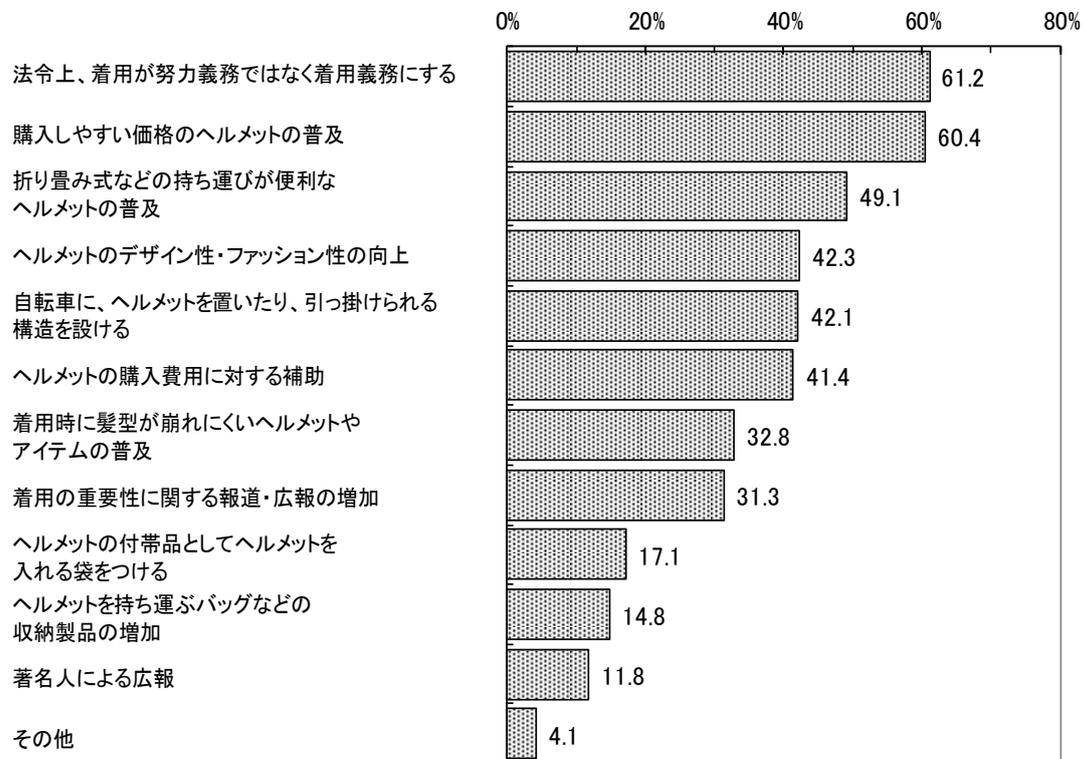


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

ヘルメットの着用率向上

Q19 あなたは自転車利用者のヘルメット着用率を向上させるためには、どのような取組が必要だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

(MA) (n=485)



【調査結果の概要】

自転車利用者のヘルメット着用率を向上させるためには、どのような取組が必要か聞いたところ、「法令上、着用が努力義務ではなく着用義務にする」(61.2%)が6割を超えて最も高く、以下、「購入しやすい価格のヘルメットの普及」(60.4%)、「折り畳み式などの持ち運びが便利なヘルメットの普及」(49.1%)などと続いている。

自転車用のヘルメットやヘルメット着用について（自由意見）

Q20 自転車用のヘルメットやヘルメット着用について、意見をご自由にお書きください。

(n=483)

- | | |
|-------------------|------|
| (1) 努力義務や着用について | 203件 |
| (2) 普及・啓発 | 98件 |
| (3) デザインや機能の要望 | 65件 |
| (4) 外した時のヘルメットの扱い | 48件 |
| (5) 入手時の補助等 | 41件 |
| (6) その他 | 28件 |

（主なご意見）

（1）努力義務や着用について 203件

○ 都のホームページを見て、ヘルメット着用啓発が平成28年から既に行っていたことだと知り、ここ2、3年で始まったものと思っていたので驚いた。街ではまだヘルメットを着用する人の方が珍しく、努力義務ではなく、義務として厳重化も考えた方がいいかもしれません。

（女性 20代 大田区）

○ 自転車に乗る際は自らの身体を守るためにヘルメットを着用しようと思いました。

（男性 20代 昭島市）

○ ヘルメットの義務化はとてもいい試みだと思う。死亡事故が減ることを願う。

（男性 30代 渋谷区）

○ 努力義務のままでいいと思う。

（男性 30代 北区）

○ ヘルメット着用を義務化して、代金負担を軽減するようにすればより着用率が上がり、重篤な事故が発生するリスクが低減できると思われます。

（男性 30代 立川市）

○ 近年、自転車事故が増加してきている状況から、自転車保険加入とともにヘルメット着用も義務化していくべきだと考えます。

（男性 30代 調布市）

- 努力義務だとしない人も多いと思うので、着用義務にした方が車を運転している人も少し安心できると思う。

(女性 40代 港区)

- 事故の際、命を落としたり、重大な後遺症が残る可能性があるので、義務化が必要だと思う。

(男性 50代 台東区)

- 車や人にばかり目が向けられがちだが、意外に身近で見たり聞いたりする自転車によるアクシデント。特に自転車は子どもたちを中心に幅広い年齢層に利用されている割に、その安全への認識などが重要視されていない。ややもすると大きな事故になりかねないことを知ってもらい、安全策を少しでも早く取るべきだと思う。ヘルメット着用の義務化に賛成します。

(女性 60代 島しょ)

- ヘルメット着用で、事故が少なくなることを願っています。

(女性 70歳以上 港区)

(2) 普及・啓発 98件

- 自転車事故で人生が変わるのは、自転車に乗っている人だけではなく、怪我をさせてしまった加害者側もだと思います。ヘルメットを着けていなかったために亡くなってしまったら、相手方が人を殺してしまったことになる。この意識を持った上で、自分と周りの人への気遣いの心で着ける人が増えればいいなと思います。

(女性 20代 町田市)

- ヘルメットをしないことへのリスクをしっかりと説明する必要があると思います。

(女性 30代 千代田区)

- ヘルメット着用により頭部が守られ、事故による後遺症などが減ったモデルケースをメディアを通して発信した方がいいと思います。ヘルメット着用のメリットに加え、非着用時のデメリットを周知することが大事だと思います。また、個人的には現在は自転車の購入を考えていないため、レンタサイクルを利用する場合に、ヘルメットもレンタルできると助かります。

(女性 30代 日野市)

- ヘルメットを着用している人はまだ少ないので、さらなる啓発が必要かと思う。また啓発の方法も考える必要がある。「努力義務になりました」と伝えるだけだと、遵法意識の特別高い人にしか響かないため、また、安全意識の高い人は努力義務になる前から使用しているため、あまり効果がないように思われる。ヘルメット着用によって悲惨な事故がどれだけ減るのかデータで示し、納得感を持ってもらう必要があるように思われる。

(女性 30代 国立市)

- 安全のために自転車乗車時にヘルメットを着用することは大事なことだと思う。交通公園などこどもが自転車を練習する場において、ヘルメット着用の義務化やその大切さについて広報してもらえるとありがたい。

(男性 40代 港区)

- 自転車で転倒した時のダメージを考えると、ヘルメット着用は妥当だと思います。小さい頃から着用する習慣がつけば、普及率は徐々に上がるのではないかと思います。

(男性 40代 世田谷区)

- 自動車のシートベルトも最初は面倒で、着用率も低かったが、事故の安全性が色々報道され定着されるようになりました。ヘルメットの安全性を強くアナウンスすることが必要だと思います。

(男性 70歳以上 江東区)

- こどもは比較的ヘルメットを着用しているが、これは保護者がこどもの怪我を心配して着用させているからだと思う。大人にもヘルメットを着用しない時の事故の影響、特に怪我を周知させれば、着用率は向上するのではないか。

(男性 70歳以上 豊島区)

(3) デザインや機能の要望 65件

- 努力義務なため、ヘルメットを着用している人は少ないと感じる。
今後ヘルメットを日常化させるためには、求めやすい価格で機能性に富んだ物を販売するなど、様々な工夫が求められると考える。

(女性 18・19歳 新宿区)

- 自転車用のヘルメットを着用したい気持ちはあるが、出かけて人に会うことを考えると、髪型が崩れてしまうためヘルメットへの抵抗を大きく感じます。髪型への配慮もしつつ、ヘルメットとしての機能も成してくれるものが普及されれば日常的に使用したいと考えました。

(女性 20代 墨田区)

- ヘルメットには抵抗があったが、調べるとヘルメットに見えない帽子型があることを知り、購入に踏み切れました。もっとおしゃれな型が増えるといいなと思います。

(女性 20代 大田区)

- 着けること自体大切だと感じたので、着けようと感じました。ただし、夏ですと熱中症になるくらい暑いので、着けたくないという友人が周りに多いようでした。涼しく着用できるヘルメットなどを推進していただければより多くの人が着用したいと思うようになりますと思います。

(男性 20代 墨田区)

- ヘルメット着用は大事なことだと思います。最近、車と接触しかけたことがありましたが、幸い大きな事故にはなりませんでした。その時に改めてヘルメット着用の重要性を感じました。

ヘルメットのデザインの少なさや金額が高額なのも着用している人が少ない理由の一つかもしれません。折りたたみ式や持ち運びやすさや自転車に取り付けられる場所があると良いなと思いました。

(男性 30代 板橋区)

- 折り畳めてオールシーズン快適に使えるものがあってほしいと思う。

(男性 30代 足立区)

- ヘルメット着用はしたほうが良いことは理解しています。出勤時に髪の毛が潰れて乱れてしまうのが嫌なので、着用に踏み切れません。あと、いかにもヘルメットというデザインは抵抗があります。もっとオシャレなデザインの物が増えてほしいです。

(女性 40代 足立区)

- ヘルメットはネット販売ではなく、実店舗で試着して買う人が多いと考えるが、近所の自転車店は品揃えが不十分だった。普及には販売店側の協力も必要だと思う。

(男性 40代 東久留米市)

- 通気性があり、重くないもの、サイズ変更可能なものを探しています。

(女性 70歳以上 西東京市)

(4) 外した時のヘルメットの扱い 48件

- こどものヘルメットと合わせると3つになってしまうため置き場所がない。

(女性 30代 練馬区)

- 自転車で事故に遭いたくない、もし遭ったときにも被害をなるべく軽減したい気持ちは強いので、ヘルメット着用にはかなり前向きである。にも関わらず未だに着用していないのは、なんといっても持ち運び・保管方法と品薄の問題である。カバンやリュックに入れて運ぶことは現実的だと思えないので、自転車に取り付けられて、盗難されにくい、スマートな仕組みが安価で登場するのを待ってしまっている気持ちは強い。

(男性 30代 立川市)

- ヘルメットの盗難防止用の鍵なども必要だと感じる。ヘルメットを被ることの目的や効果の周知や、被っていて良かったという生の体験談などは、ヘルメットの着用を進める上で効果があると思う。

(女性 40代 国分寺市)

- ヘルメットは必要だと感じているが、まだ購入しておりません。というのも、やはりヘルメットを外した際、どうしてよいのか分からない(持ち運ぶにしても、自転車に置いておくにしても)からというのが一番の理由です。

持ち運ぶにはかさばり、移動の邪魔になるし、自転車に置いておくと盗まれるリスクがあるからです。また、今の季節は暑いので、日除け重視の帽子をかぶってしまいます。

折りたたみができる、見た目もスタイリッシュ、通気性も良いヘルメットがあれば、少しお値段が高くても購入したいと思います。今は努力義務化してから時間がまだ経ってないので、ヘルメットの商品開発を期待して様子見でいます。

(女性 50代 目黒区)

- 毎日乗る人は着用したほうが良いと思うが、持ち運びが大変なので、ヘルメット収納が出来る自転車カゴなどが普及すると良いと思います。

(女性 50代 大田区)

- ヘルメットを被ることで身を守れることは理解していますが、自転車を降りた後にヘルメットが荷物になることが一番ネックになっていて、着用に踏み切れていません。

(女性 50代 葛飾区)

- 駐輪時の保管場所がとにかく困る。ホルダーなどを配布してほしい。

(男性 70歳以上 江東区)

(5) 入手時の補助等 41件

- シェアサイクルサービスにおいても、ヘルメットも含めたサービスの普及を図るために企業に要請してみたり、一部補助するのもいいかもしれません。

(男性 20代 品川区)

- ヘルメットを購入して補助金が出るなら、前向きに検討する人が増えると思います。

(女性 30代 板橋区)

- 努力義務となったことについてテレビなどで継続的に広報を続けていくことが大切だと思います。現状、区ごとに補助の有無がバラバラで補助のない区は不公平感を感じている住民がおり、ヘルメットの購入を渋ることにつながっていると思います。

(男性 30代 板橋区)

- 他県では補助金を出したり、学生に無償で提供しているところもあり普及率には効果的だと思います。普及率が上がれば、自転車に乗る時はヘルメット着用が当たり前になる環境が整います。

また自転車事故での死亡や後遺障害、高額賠償事例なども合わせて啓発活動を積極的に行う必要があると考えています。

都内ではシェアサイクリングも盛んなので、その際のヘルメットは、業者が用意するのか、使用者が用意できるのかなど、どのようにすべきかも検討をお願いします。

(男性 50代 杉並区)